Panasonic®

ドアホン親機編

取扱説明書

パーソナルファクス付テレビドアホン

品番 **VL-SW155K**（ブイエル エスダブリュー ケイ） 電源コード式

- 確認と準備
- ドアホン
- カメラ（別売品）
- 録 画・録 音
- 室内通話
- お好み設定
- 別売品の増設
- 必要なとき
- 困ったとき

VL-MW150K

VL-V565

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ご使用前に「安全上のご注意」（4、5ページ）を必ずお読みください。

もくじ

お好み設定

音の設定

機能設定一覧表

別売品の増設

さらに便利に…

必要なとき

困ったとき

困ったとき

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

●金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■雷が鳴ったらドアホン親機・電源コード・電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

使用上のお願い

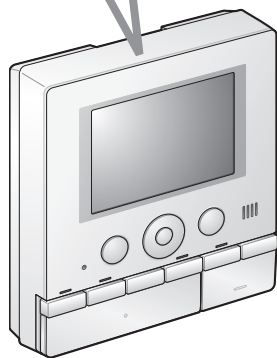
こんなところには設置しない

● **火気・熱器具の近く**
（変形や故障の原因）

● **テレビ・電子レンジ・パソコンの近く**
（電波干渉による誤動作の原因）

● **直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く**
（40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）

● **温度変化が激しいところ**
（結露による誤動作の原因）

ドアホンやドアホン親機の設置場所は、工事説明書をよくお読みください

ドアホン親機

ドアホン親機・ファクス親機・子機・カメラ（別売品）間は電波での接続のため、各機器の距離や設置場所にもご注意ください

●各機器間に何も障害物がない場合、それぞれ見通し約100 m以内の距離で使えます。

●距離が離れていたり、次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、通話の途切れ（プツプツ音や声の途切れ）、映像の乱れや更新の遅れが起きて、ドアホン親機や子機の電波表示が圏外になり、使えないことがあります。（ドアホン親機の電波表示☞ 13ページ、子機の電波表示☞「子機編」13ページ）

- 金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- ドアホン親機・ファクス親機・子機・カメラをそれぞれ別の階や家屋などで使うとき

●上記のような場合は、中継アンテナの設置をお勧めします。
（☞ 50、54ページ）
ただし、ドアホン親機とファクス親機の間には中継アンテナが使えません。

中継アンテナ
（別売品）

電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはドアホン親機・ファクス親機・子機・カメラ(別売品)とも約3 m以上離してください。

- **電子レンジ**
- **無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）**
- **ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）**

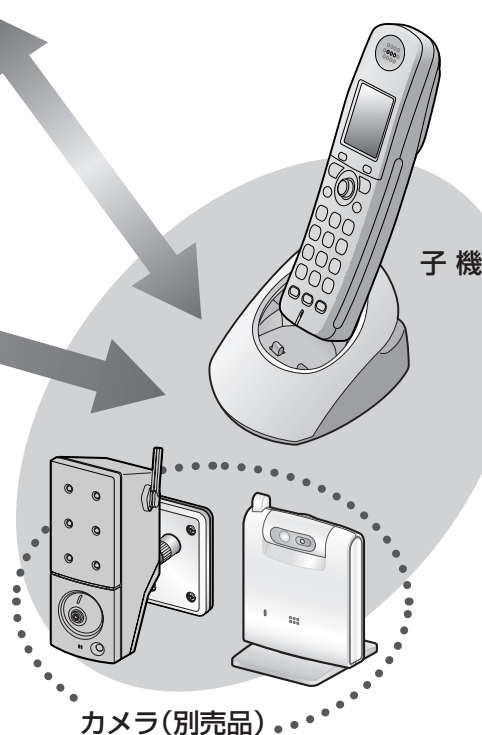
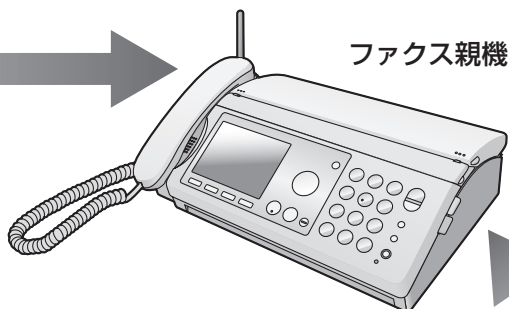
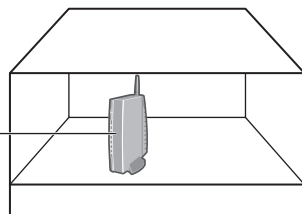
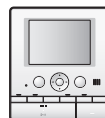
その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機/ファクス
- その他、Bluetooth® 対応機器やVICS(道路交通情報通信システム)など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、上下に置くと影響を軽減できることがあります。

ファクス親機

子 機

カメラ(別売品)

使用上のお願い（つづき）

電波について

● **本機は、2.4～2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

● **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 66ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 66ページ）へお問い合わせください。

プライバシー・肖像権について

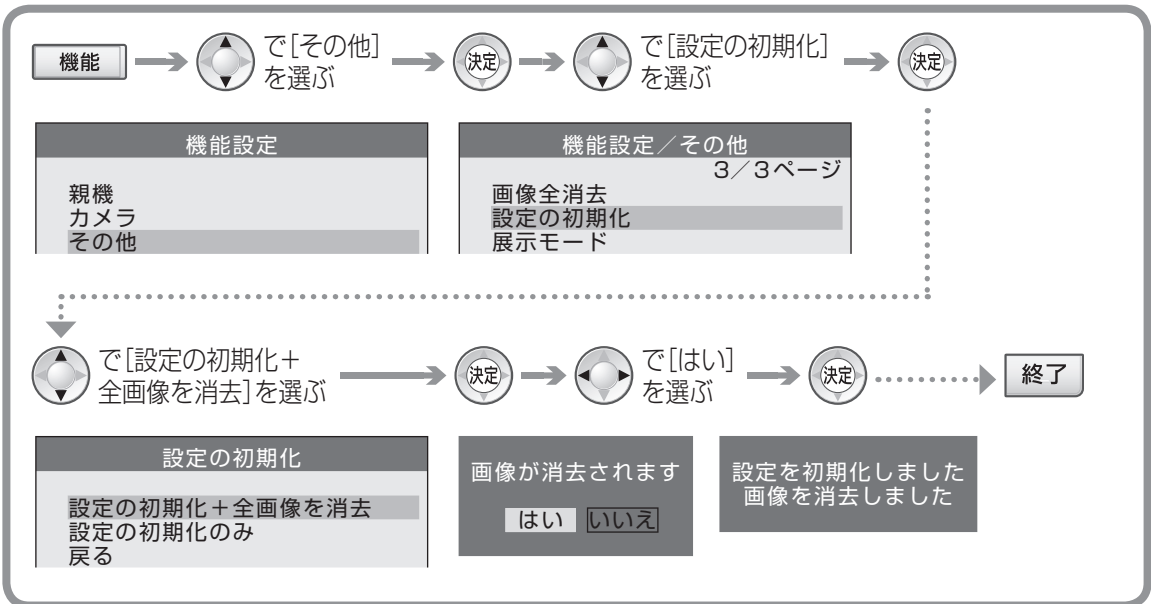
● ドアホン・カメラ（別売品）の設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。
  （故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
- 停電すると本機は使えません。

ドアホン親機を廃棄・譲渡・返却するとき

- お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や、録画・録音など）を消去してください。

■ ドアホン親機の情報を消去する（設定の初期化）

各部のなまえとはたらき　ドアホン親機

液晶ディスプレイ
（☞ 12ページ）

モニターボタン
- ドアホンやカメラ（別売品）側の様子を見る（☞ 19、22ページ）

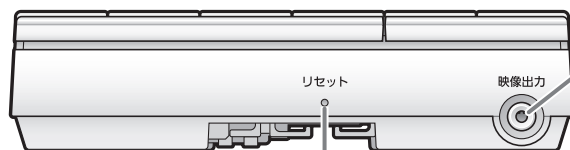
マイク

通話ランプ
- ドアホンや子機からの着信中は点滅、通話中は点灯する

通話ボタン
- 通話する（☞ 16ページ）

送話ランプ
- 通話中、こちら側が話をしているときに点灯する

終了ボタン
- 通話などの操作を終わる

■下から見たとき

映像出力端子
- RCAピンコード（市販品）でテレビなどに接続すると、ドアホン親機に表示中の映像（画像）をそのまま出力できる（ただし、テレビ画面が大きいほど、画質は低下します）

リセットスイッチ
（☞ 62ページ）

マルチファンクションキー

●操作ガイド(☞ 12ページ)で表示された操作をする

●録画再生時の画像送り(☞ 30、31ページ)に使う

●情報表示画面(☞ 12ページ)を表示する

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

(**上**または**下**を押す)

(**左**または**右**を押す)

(**決定** を押す)

室内呼ボタン

● 子機を呼び出す (☞ 18、34ページ)

スピーカー

留守ランプ
留守設定中:点灯
留守解除　:消灯
新しい留守録画あり:点滅

留守
●留守設定する(☞ 26ページ)
●留守設定中に録画した画像を、自動再生する(☞ 30ページ)

再生ランプ
新しい自動録画あり:点滅

再生
●録画した画像を再生する(☞ 31ページ)

録画
●表示中の映像を録画する(☞ 25ページ)

ボイスチェンジランプ
ボイスチェンジ中　:点灯
ボイスチェンジ解除:消灯

ボイスチェンジ
●自分の声を低く変える(☞ 17ページ)

外部機器ランプ
接続機器が1台の場合
• 施錠/ONのとき　:点灯
• 施錠/OFFのとき:消灯
接続機器が2台の場合
• 常時消灯

外部機器
●電気錠など、接続した外部機器を操作する(☞ 48ページ)

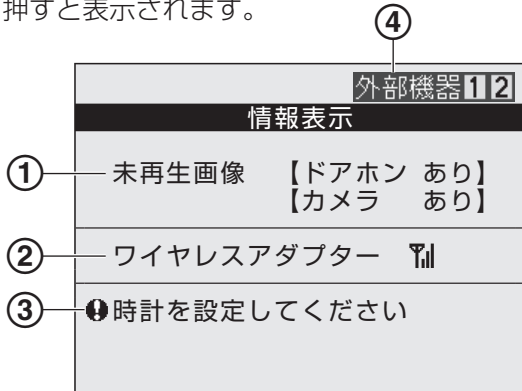
明るさ/音量
機能
●明るさや音量を変える(☞ 17、35ページ)
●機能設定をする(☞ 38〜43ページ)

各部のなまえとはたらき ドアホン親機

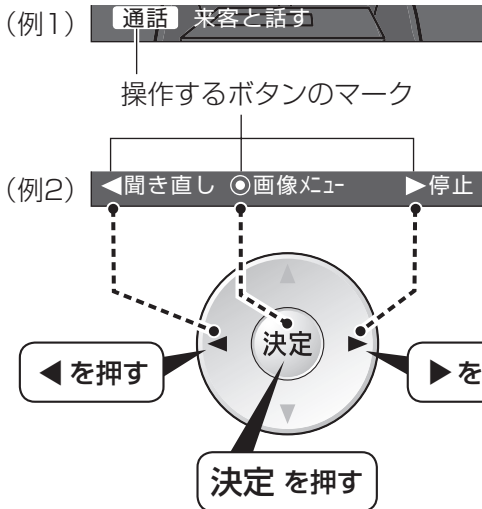
液晶ディスプレイ(モニター画面)の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

〈待ち受け中：情報表示画面〉

ディスプレイが消えているときに 決定 を押すと表示されます。

〈操作中：通話・モニター中の画面〉

操作ガイドについて

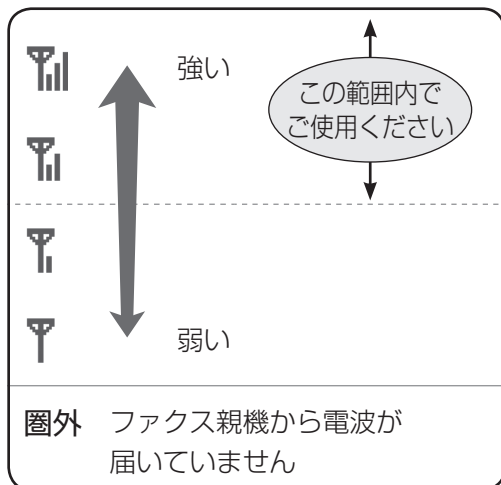
有効な操作と操作するボタンのマークを、画面下にガイドとして表示します。
●表示は一例で、操作する場面ごとに変わります。

着信中やモニター中は、映像に重なる操作ガイドを 決定 で消すことができます。(再度押すと表示します)

モニター画面の映像表示について

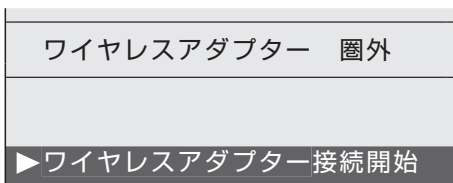
●カメラ(別売品)からの映像は、約3秒ごとに更新しながら表示されます。(動画ではありません)

① ドアホンやカメラ(別売品)の未再生画像があるときに表示する

② ファクス親機からの電波状態を表示する

〈電波状態表示〉

●「圏外」のときは下記の画面表示になり、**ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません**

ワイヤレスアダプター　圏外

▶ワイヤレスアダプター接続開始

➔ ファクス親機の電源が入っていることを確認し、上記画面の状態で を押してください

● 上記操作後も「圏外」になるときや電波が弱いときは、電波の強い場所へファクス親機を設置し直してください

※再び「圏外」になったときは、再度上記画面で を押してください

③ 日時が設定されていないときに表示する(☞ 15ページ)

④ 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する(☞ 48ページ)

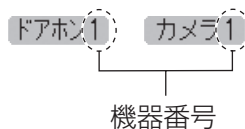
外部機器 1 2 ― 機器番号(登録した番号のみ表示)

● **施錠 または ON のとき** 1 ― 緑

● **解錠 または OFF のとき** 1 ― 黒

⑤ 着信中、通話中、モニター中の機器名を表示する

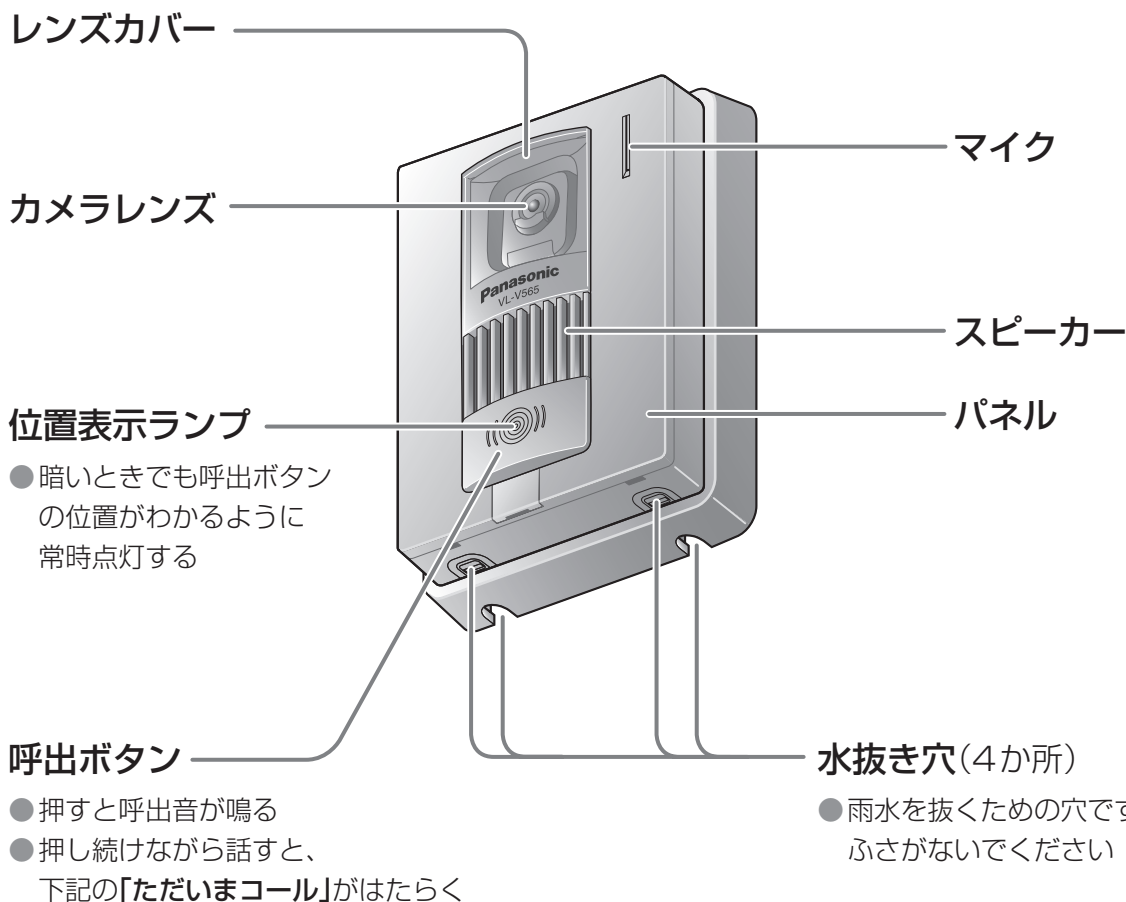
● 画像再生中は、撮影した機器名

⑥ 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器名を表示する

⑦ プレストーク通話中に表示する(☞ 17 ページ)

各部のなまえとはたらき ドアホン

位置表示ランプ
- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

呼出ボタン
- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の「**ただいまコール**」がはたらく

水抜き穴（4か所）
- 雨水を抜くための穴です ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

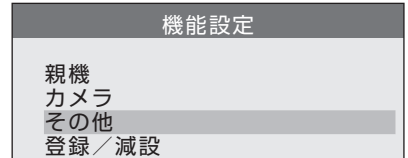
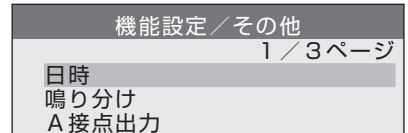
① **呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける**
- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
- 室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます

② 終わったら、**指を離す**

お知らせ
- ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定（☞ 35ページ）に連動します。

日付・時刻の設定

ドアホン親機には録画機能があります。下記の設定をしないと、録画日時(☞ 32ページ)が記録されません。
(時刻は1か月に約60秒ずれることがあります)

1 を押し、で[その他]を選ぶ

2 を押し、で[日時]を選ぶ

3 を押し、日時を設定する

: 年・月・日・時・分の項目を選ぶ

: 数字を選ぶ
(押し続けると数字が早く切り替わる)

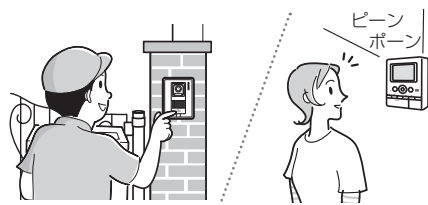
(設定例)

4 設定が終わったら、

を押す

●「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示する

5 を押す

呼び出しに応答する

1 ドアホンから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

2 応答する(相手と話す)には

[通 話] を押す

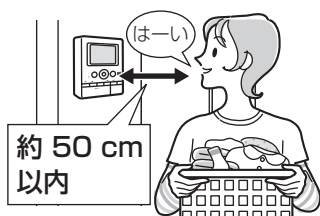
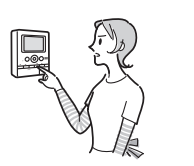
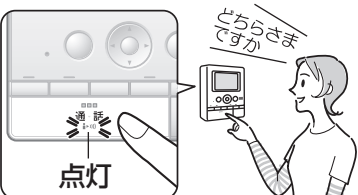
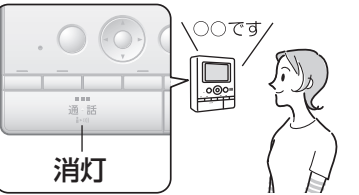
約50 cm以内で
相手と交互に話す
●同時に話すと声が途切れる

● **逆光で顔が暗く映って見えにくいとき**
➔ 右ページの「逆光補正」をすると、見えやすくなります

3 終わったら、**[終了] を押す**

ボタンを押さずに声で応答する(音声応答)

「音声応答」の設定を「ON」(☞ 38ページ)にすると、声で応答できます。

① 呼出音が鳴ったら、声で応答する(相手には聞こえない)

● 「ピッ」と鳴ったら、話ができる
● 周囲の音(☞ 下記)に反応して応答してしまうことがあります
- ペットの鳴き声やテレビ
- 子機の呼出音(子機を近くに置いているとき)
● 子機からの呼び出し(室内呼)にも音声応答できます

お知らせ

● 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
➔ [通 話] を押すと、相手につながり再び話ができます。
● 着信時の映像が自動で録画されます。(☞ 24ページ)
● ただいまコール(☞ 14ページ)の場合、応答しなくても、呼出音に続けて相手からの呼びかけが聞こえます。
➔ [通 話] を押すと、相手と話ができます。(音声応答はできません)
● 呼出音の音量や種類は、変更できます。(☞ 35、36ページ)
● **通話中に別の呼び出しがあったとき(☞ 20ページ)**

通話中・モニター中の機能

画面の明るさを変える	明るさ/音量 機能 を押す → ◎で[明るさ]を選ぶ → ◎で変更する → 明るさ/音量 機能 を押す
受話音の大きさを変える	明るさ/音量 機能 を押す → ◎で[音量]を選ぶ → ◎で変更する → 明るさ/音量 機能 を押す
ドアホンの逆光補正をする	明るさ/音量 機能 を押す → ◎で[逆光補正]を選ぶ → ◎で[ON]にする → 明るさ/音量 機能 を押す ●VL-V565以外のドアホンには、この機能はありません
録画(録音)する	録画 を押す ●詳しくは(☞ 25ページ)
自分の声を低く変える(ボイスチェンジ) ●通話中のみ	ボイスチェンジ を押す(ランプ点灯) ●再度押すと消灯し、元の声に戻る ●声の高さは、設定により変更できる(☞ 39ページ) 男性のような音程の低い声に お断わりします! ← 女性の声を お断わりします!
送話と受話を切り替えて話す(プレストーク通話) ●自分や相手の周囲が騒がしく通話しにくいときに	「ピッ」と鳴るまで 通 話 を約2秒間押す(画面に と表示) ■話すとき(送話) 通 話 **を押したまま話す** ■聞くとき(受話) 通 話 **から指を離す** ● 通 話 を押している間は、相手の声が聞こえません

お知らせ

- 逆光補正以外の機能は、カメラ(別売品)との通話中・モニター中にも使えます。
- 子機とのドアホン室内通話中(☞ 34ページ)は、受話音量の変更とプレストーク通話のみできます。
  - ドアホン通話転送中(☞ 18ページ)の室内通話では、受話音量の変更はできますがプレストーク通話はできません。
- ボイスチェンジやプレストーク通話は、通話終了後に解除されます。

通話を転送する

付属の子機など、ドアホン機能が使える子機へドアホン通話を転送できます。

● ファクス親機への転送はできません。

転送する側 / 受ける側

1

ドアホン通話中に、

室内呼 を押し、転送先の子機に呼びかける

● ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

充電台から子機を取る、または 内線 を押し、話す

2

子機が出たら、

通話を転送することを伝え、終了 を押す

● 子機との通話が切れ、子機がドアホンと通話できる

ドアホン親機が通話を切るとドアホンの映像が映り、スピーカーホン通話に変わる（スピーカーホン 点灯）

ドアホンの映像が映ったら、

ドアホン側の相手と話す

● 終わったら、切 を押す

■子機からの転送をドアホン親機で受けるとき

① 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、通 話 を押して話す

② 子機が通話を切って、ドアホンの映像が映ったら、ドアホン側の相手と話す

③ 終わったら、終了 を押す

お知らせ

● **子機が2台以上あるときは、手順1の操作ですべての子機が一斉に呼び出されます。**
38ページの「室内呼」の設定を「一斉/個別」に変えておくと、下記の手順で個別に呼び出して転送できます。

①ドアホン通話中に 室内呼 を押し、◇ で転送先の子機を選ぶ

② 決定 を押し、呼びかける

➔ 指定した子機にだけ呼びかけが聞こえる

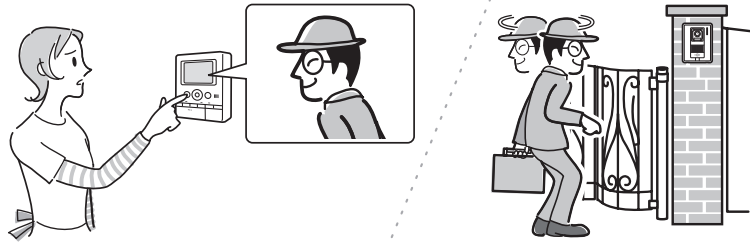
③ 子機が出たら、通話を転送することを伝え、終了 を押す

➔ 子機がドアホンと通話できる

（例）

● 子機が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ 通 話 を押す

● 子機と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

ドアホン側の様子を見る （ドアホンモニター）

■モニター中の機能
（☞ 17ページ）

1 （モニター）を押す

■ドアホンが2台あるとき

（モニター）を押すごとに映像が切り替わる

■カメラ（別売品）を増設しているとき

① 続けて（▲▼）でモニターしたいドアホンを選ぶ

ドアホン１
ドアホン２
カメラ１

② （決定）を押す

● 映像が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はドアホン側には聞こえません）
● ドアホン側の相手と話すには
［通 話］を押す

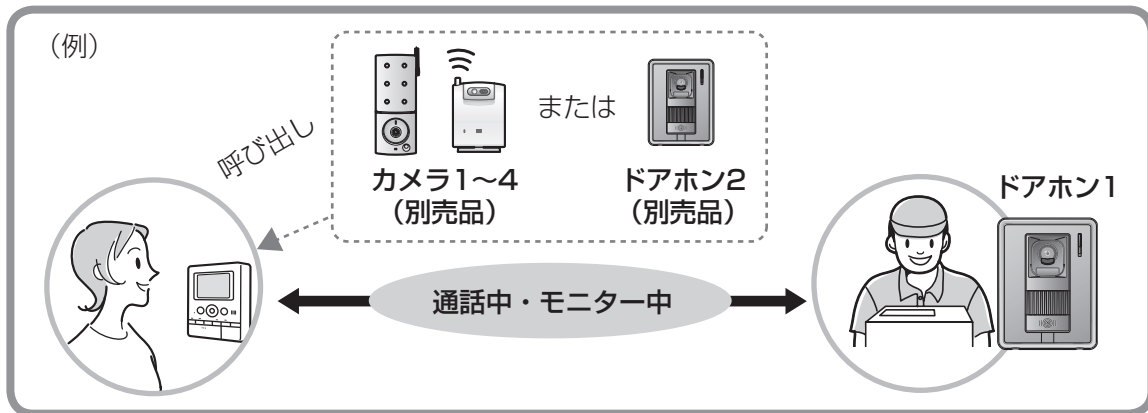
2 終わったら、

［終了］を押す

お知らせ

● モニターは約90秒で自動的に終了します。
● モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 20ページ）

通話中・モニター中に 別の呼び出しに応答する

別の機器からの呼び出しは、通話中･モニター中に呼出音や画面表示などで通知されます。
通話中・モニター中の機器にのみ通知されるので、下記の操作で応答してください。

1 ドアホン(カメラ)通話中・モニター中、
またはドアホン室内通話中に、
別のドアホンやカメラから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、(モニター) が点滅する

● 画面には、呼び出してきた機器名を表示

2 応答するには

(モニター) を押す

● 元の通話やモニターは終了する
● 呼び出してきたドアホンやカメラの映像が
　表示され、周囲の音が聞こえる
　（こちらの声は相手側には聞こえません）
● 相手と話すには
　[通 話] を押す

3 終わったら、 **を押す**

お知らせ

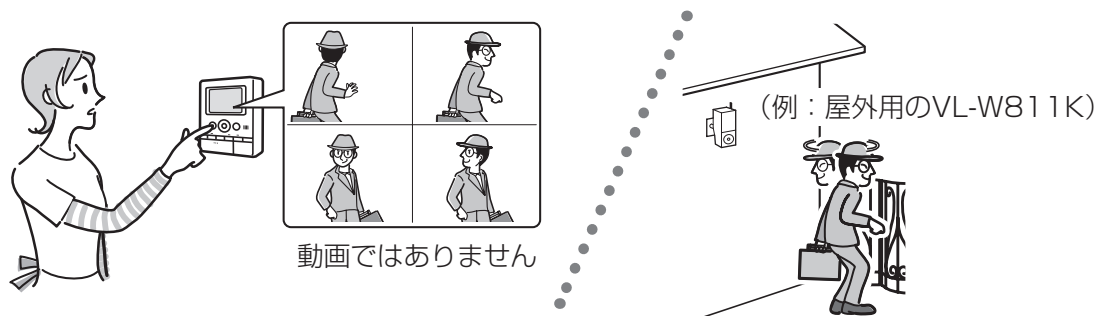
● ドアホン通話を録音中に別の呼び出しがあったときは、呼出音が鳴りません。
（(モニター) の点滅と画面表示のみでお知らせします）

カメラを使ってできること

屋内用または屋外用のワイヤレスカメラを増設して使えます。（別売品 ☞ 54ページ）

● カメラによって、設置場所・人感センサーの検知範囲・利用できる機能などが異なります。
増設するカメラの説明書とあわせて、よくお読みください。

カメラ側の様子を映像と音で確認（カメラモニター ☞ 22ページ）

動画ではありません

カメラの人感センサーが人などを検知すると、呼出音と映像でお知らせ（☞ 23ページ）

カメラ側でも音が鳴り、屋外用のVL-W810K/VL-W811Kではカメラ側の設定によってLEDライトも点灯します。

動画ではありません

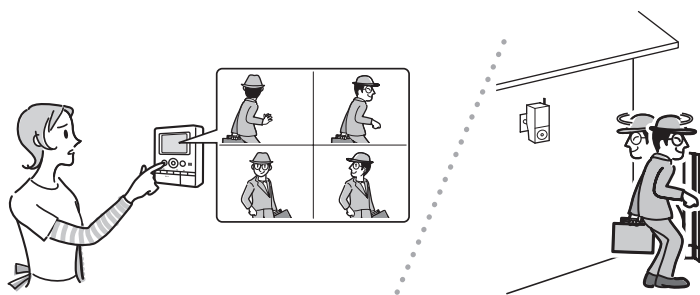
カメラの画質

● ドアホンよりも多少劣ります。また、下記のような場合があります。
- 静止画のため、動いている人がぶれる
- 逆光のとき、人の顔が暗くなる
- 夕方や夜間など、周りが暗い場所で画質が低下する
- 蛍光灯を映すと、周りがかすんだようになる

● 屋外用のVL-W810K/VL-W811Kの画質について詳しくは（☞ 22ページ）

カメラの機能設定

● 下記は機能の一部です。詳しくは（☞ 40、41ページ）
- センサー検知時にカメラ側で鳴る音の種類を変えたい：**「カメラ出力音」**
  または、音の大きさを変えたい（消したい）：**「カメラ出力音量」**
- 人感センサーを反応させたくない、
  または、反応の時間間隔や自動録画の設定を変えたい：**「センサー種別」**

カメラ側の様子を見る （カメラモニター）

■モニター中の機能
（☞ 17ページ）

1 （モニター）を押し、（▲▼）でモニターしたいカメラを選ぶ

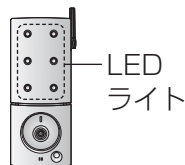
ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1
カメラ 2

2 （決定）を押す

- 映像が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）
- カメラ側に話しかけるには
［通 話］を押す

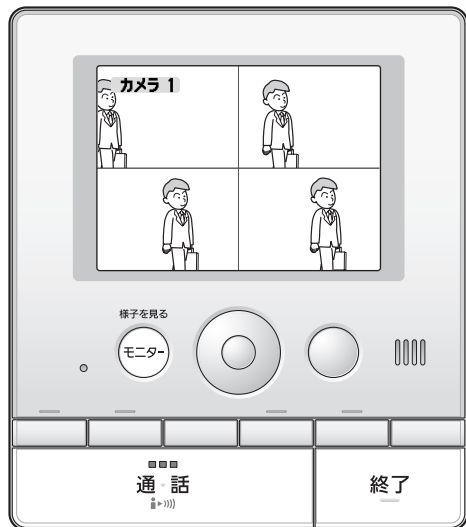
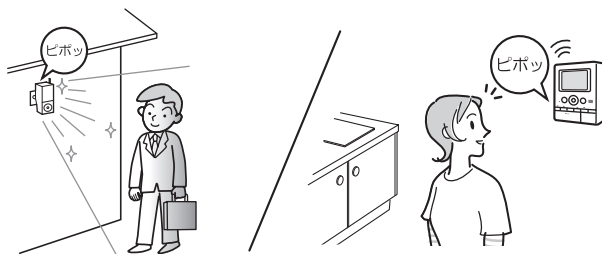
3 終わったら、
［終了］を押す

屋外用のカメラ（VL-W810K/VL-W811K）をご使用の場合

● **カメラのLEDライトは、センサー検知時などの威嚇用です。**
カメラ側の設定により、上記手順2や右ページ手順1でライトが点灯※しますが、照明用の光量はありません。
※ モニターや通話を終了すると、約30秒後に消灯します。

● **下記のような場合、人の顔が識別しにくくなります。**
- 昼間など明るいときでも、カメラから約2 m以上離れたとき
ただし、撮影時の被写体の場所（日陰・逆光・撮影角度など）によっては、2 m以内でも映りが悪くなったり、人の顔が識別しにくくなります。
- 夕方や夜間など、周りが暗いとき（画質が低下します）
- 動いている人を撮影するとき（画像がぶれるため、顔の識別が難しくなります）

カメラ（別売品）

呼び出しに応答する

人感センサーが反応すると、呼出音と映像でお知らせします。応答すると、カメラ側の音を聞くことができます。

1 センサーが反応すると

呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

2 応答する（カメラ側の音を聞く）には

モニター を押す

● こちらの声はカメラ側には聞こえません
● カメラ側に話しかけるには

を押す

3 終わったら、

終了 を押す

■モニター中の機能
（☞ 17ページ）

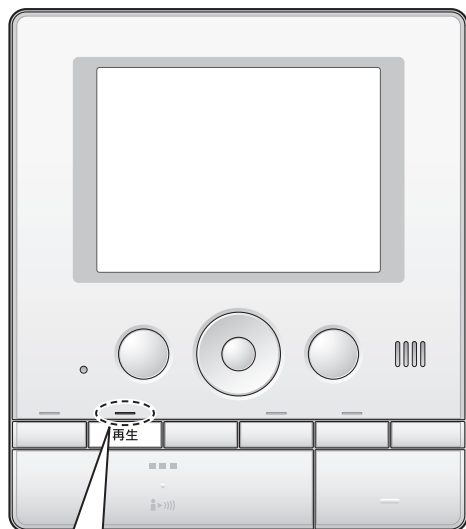
お知らせ

● センサー反応時の呼び出しは約30秒、モニターや通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
● センサー反応時の映像は、自動で録画されます。（☞ 24ページ）
● 呼出音の音量や種類は、変更できます。（☞ 35、36ページ）
● センサー反応時にカメラ側だけ動作させ、ドアホン親機や子機には着信させない（呼出音も映像表示もしない）ような設定もできます。（☞ 37ページ「鳴り分け」）
● **モニター中・通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 20ページ）**

録画・録音する

ドアホンやカメラ(別売品)の映像を、合計100件まで静止画で録画できます。
ドアホンの場合は、そのうちの25件を音声付きの画像として録画できます。
● 録画方法は「在宅自動録画」「手動録画」「留守録画(☞ 26ページ)」の3とおり。
● 音声付きの録画ができるのは手動録画・留守録画のみで、合計25件まで。

在宅自動録画(録画のみ)

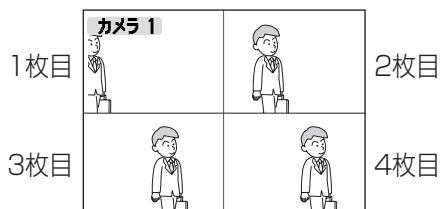
留守設定していないときに着信した映像を、自動で録画します。(録音はされません)

呼び出しに応答しなかったときは未再生画像として録画され、点滅でお知らせします(☞ 31ページ)
● 点滅しないように設定することもできます
(☞ 39ページ「再生ランプ点滅」)

1 ドアホンやカメラから呼び出しがあると

自動録画する

■ ドアホン:下記の1枚を録画

(呼び出しから約2秒後の映像)

■ カメラ:下記の4枚を録画

● VL-W800のとき
1枚目　　:人感センサー検知時の映像
2〜4枚目:検知後、約3秒おきの映像
● VL-W810K/VL-W811Kのとき
1枚目　　:人感センサー検知直前の映像
2〜4枚目:検知後、約0.3秒おきの映像

お知らせ

● 呼び出しに応答したときは、再生済みの画像として録画されます。
● 通話中・モニター中に呼び出してきたドアホンやカメラの映像は、呼び出しに応答しないと録画されません。
● ドアホンの録画枚数は「4枚」に変更できます。(☞ 43ページ「ドアホン録画数」)
　• 4枚録画のときは1枚目を録画後、約3秒おきに2〜4枚目を録画します。
●「1枚録画」「4枚録画」ともに、録画件数は1件になります。
● ドアホンやカメラの映像を4枚録画中に、別の機器から呼び出しがあると、4枚録画できないことがあります。(最低1枚は録画されます)
● 在宅自動録画をやめるには:ドアホン(☞ 42ページ「ドアホン自動録画」の設定を「OFF」にする)
　　　　　　　　　　　　　:カメラ(☞ 40ページ「センサー種別」の設定を「自動録画OFF」にする)

次の場合は、新しい録画の際にそれぞれ一番古い画像が自動的に消去されます。
（☞ 29ページ「自動更新」）
● 録画した画像が100件あるとき
● 100件未満でも、音声付きの画像が25件ある場合に、新しい音声付きの画像を録画したとき

手動録画（録画・録音）

着信中、通話中、モニター中の映像を、必要に応じて録画できます。
ドアホン通話中・モニター中は、同時に録音もされます。（録音時間は固定：約20秒間）

1 映像表示中に

録画 を押す

（録音中の例）

● 録音が終わると、録音中 が消える

お知らせ

● 手動録画の場合は、再生済みの画像として録画されます。
（再生するには ☞ 31ページ下部「すべての録画の再生」）

● **次の場合は、録音できません。（画像のみを録画）**
- ドアホン着信中、または表示中の相手がカメラのとき
- 未再生の留守録画と保護設定した画像（☞ 33ページ）のうち、音声付き画像が合計25件あるとき（留守ランプが速く点滅する）
  ➔未再生の留守録画を再生すると、録音できるようになります。（☞ 30ページ）

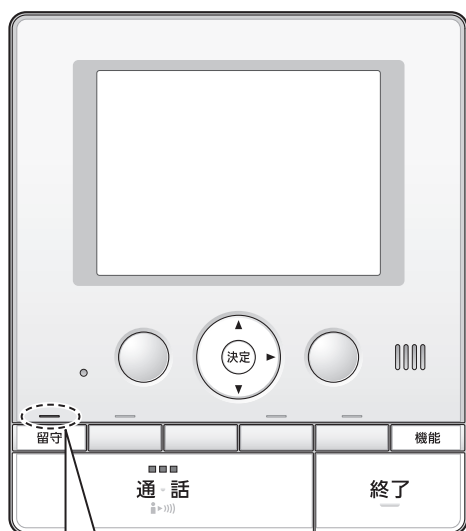
● ドアホン通話中・モニター中の手動録画で、録音をしないようにすることもできます。
（☞ 43ページ「録画ボタン」）

● 録音中に別のドアホンやカメラから呼び出しがあったとき
- 呼び出しに応答すると、録音が中止されます。

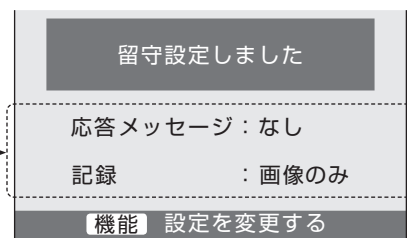
留守設定して録画・録音する

留守設定すると、留守中のドアホン映像やカメラ(別売品)映像を「留守録画」として記録し、留守ランプの点滅でお知らせします。
留守録画は、ドアホン親機の留守ボタンを押すだけで自動再生されます。(☞ 30ページ)

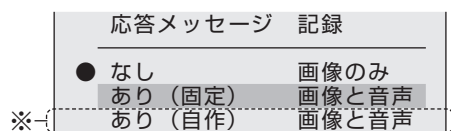
● ドアホンからの呼び出しの場合、設定により、相手に応答メッセージを流して用件を録音**(最大25件)**することもできます。(お買い上げ時の設定：応答メッセージを流さず、画像のみを録画)

お出かけ前に、留守設定する

1 留守 を押す(留守ランプが点灯する)

● 設定内容に応じた音声が流れ、留守設定される

留守設定しました
現在の設定内容→
応答メッセージ：なし
記録：画像のみ
機能 設定を変更する

■設定を変更するとき(相手の用件を録音する)

① 続けて 機能 を押し、◇ で選ぶ

	応答メッセージ	記録
●	なし	画像のみ
	あり（固定）	画像と音声
※	あり（自作）	画像と音声

● 応答メッセージ「あり」を選んだときは、◇ で応答メッセージを試聴できる

② 決定 を押す

※ 自作応答メッセージを録音すると表示される(☞ 28ページ)

2 終わったら、終了 を押す

帰ってきたら、留守解除する

1 留守 を押す

● 新しい留守録画があるとき(留守ランプ点滅)
➔ 留守録画が自動で再生される
(再生について詳しくは ☞ 30ページ)

● 留守ランプが消灯し、留守設定が解除される

「画像と音声」の留守設定中は、下記のように留守応答します

ドアホンから呼び出しがあると…

① 着信時の映像を録画する

② 設定した応答メッセージを流して、用件を録音する

③ 録音中は、スピーカーから相手の声が聞こえる（子機は映像表示のみ）

④ 録音が終わると、未再生の留守録画（音声付き）1件として記録される

用件録音について

- 用件の録音時間は、約20秒間（固定）です。**（最大25件）**
- 相手が何も話さなくても、1件の用件として録音されます。
- ドアホンの周囲が騒がしいときなど、雑音が入ったりして相手の声がはっきり録音されないことがあります。

留守設定して録画・録音する

お知らせ

- 録画のタイミングや1件あたりの録画枚数は、在宅自動録画（☞ 24ページ）と同じです。
- **留守設定が「画像と音声」でも、次の場合は録音できません。（画像のみを録画）**
  - 呼び出してきた相手がカメラのとき
  - 未再生の留守録画と保護設定した画像（☞ 33ページ）のうち、音声付き画像が合計25件あるとき（留守ランプが速く点滅し、応答メッセージも流れません）
    ➔未再生の留守録画を再生すると、録音できるようになります。（☞ 30ページ）
- 留守応答中でも、［通 話］を押してドアホンの相手と通話できます。
  - 録音は途中で止まり、録画した画像は再生済みの留守録画（音声付き）として記録されます。
- 留守応答中に、別のドアホンやカメラから呼び出しがあったとき
  - 留守応答が終わるまで（約30秒間）は、呼び出しが通知されません。

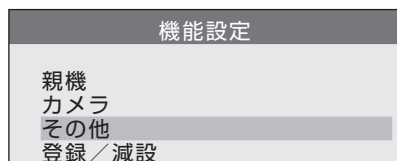
留守設定して録画・録音する(つづき)

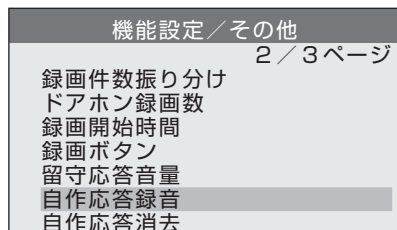
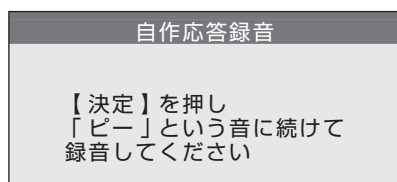
自分の声で応答メッセージを作る

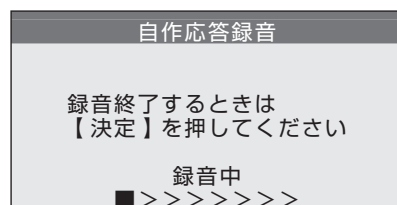
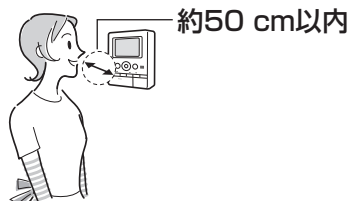
1 機能 を押し、 で
[その他]を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録/減設

2 決定 を押し、 で
[自作応答録音]を選ぶ

機能設定/その他
2/3ページ
録画件数振り分け
ドアホン録画数
録画開始時間
録画ボタン
留守応答音量
自作応答録音
自作応答消去

3 決定 を押す

自作応答録音
【決定】を押し 「ピー」という音に続けて 録音してください

4 決定 を押し、「ピー」音のあと
マイクに向かって録音する
(16秒以内)

自作応答録音
録音終了するときは 【決定】を押してください
録音中 ■>>>>>>>>

● 決定 を押す、または16秒経過すると、「ピー」音が鳴って録音が終了し、録音したメッセージが再生される
➔ 再生が終わると、手順2の画面を表示
(録音をやり直すには、手順3へ)

5 終わったら、
終了 を押す

お願い

● **防犯上、家の中に誰もいないことを想像させるメッセージは録音しないでください。**
(避けてほしい表現:「留守にしています」「外出中です」「旅行中です」など)
● メッセージの録音は、周りが静かなときに行ってください。

お知らせ

● 録音したメッセージを消すには(☞ 43ページ「自作応答消去」)

録画・録音の自動更新について

■ 自動更新とは…

新しい録画の際に、一番古い画像を自動的に消去することです。
これによって、録画や録音の件数が最大になっても、新しい録画・録音ができます。

■ 自動更新で消去されるもの

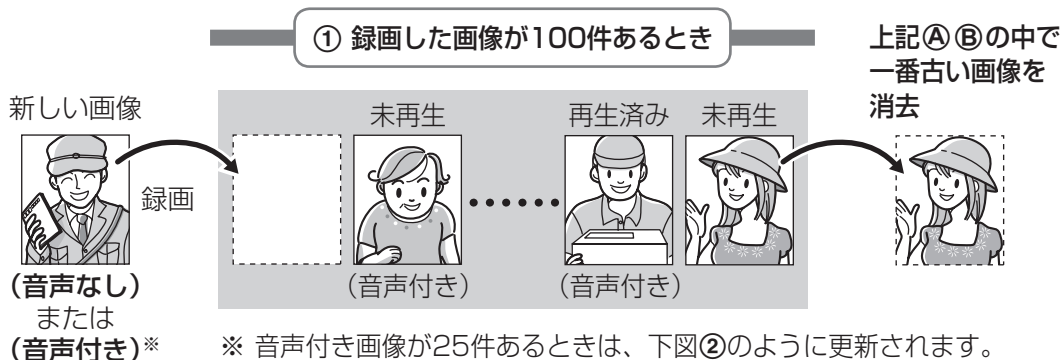
Ⓐ 再生済みの画像（音声付きを含む）
Ⓑ 未再生の画像（音声なしの場合）

次のものは消去されません

- 未再生の留守録画で、音声付きの画像
- 保護設定した画像（☞ 33ページ）

■ 自動更新は、次の場合に行われます

- 録画した画像が100件あるときに、新しい画像を録画したとき（下図①）
- 音声付きの画像が25件あるときに、新しい音声付き画像を録画したとき（下図②）

※ 音声付き画像が25件あるときは、下図②のように更新されます。

お知らせ

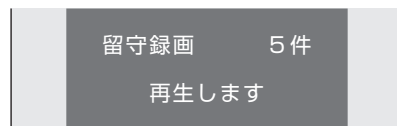
- カメラをご使用の場合、42ページの「録画件数振り分け」の設定を「する」にしておくと、録画可能件数（最大100件）をドアホン画像用（最大60件）とカメラ画像用（最大40件）に分けることができます。
  ➔この場合、ドアホン画像とカメラ画像は、それぞれの画像ごとに自動更新されます。

（例）ドアホン画像60件、カメラ画像40件のとき
　• 新しくドアホン画像を録画 ➔ 一番古いドアホン画像を消去

再生する

留守ランプが点滅しているとき(留守録画の再生)

新しい留守録画があります。留守ボタンを押して再生してください。
すべての留守録画を再生すると留守ランプが消灯し、留守設定が解除されます。

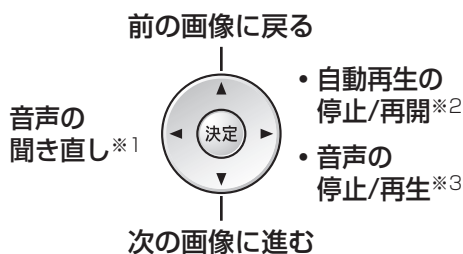
1 留守 を押す

- 日時の古い画像から、自動で再生される
  - 音声付き画像は、音声も同時に再生される
  - 1件あたりの画像表示時間
    音声なし：約9秒間
    音声付き：約28秒間
  - 再生画面の見かた(☞ 32ページ)
- 自動再生が終わると、「留守中の画像は以上です」が表示され、留守ランプが消灯する

お知らせ

- **留守録画のほかに、未再生の画像(在宅自動録画)があるとき**
  留守録画の自動再生が終わると、右記の表示が出ます。
  - 再生するには(☞ 右ページの手順1へ)

ほかに未再生の画像があります
再生ボタンを押してください

- 手順1で 再生 を押しても、留守録画を再生できます。
  この場合、留守設定は解除されません。(留守ランプ点灯)
- 一度再生した留守録画は、ドアホンやカメラの再生済み画像として記録されます。
  (音声付きの場合、音声再生の途中で再生をやめたときも、その画像は再生済みとして記録されます)
  - あとからもう一度再生するには(☞ 右ページ下部「すべての録画の再生」)

再生中はこんなことができます

■明るさや音量の変更

明るさ/音量 機能 を押す ➔ で[明るさ]や[音量]を選ぶ ➔ で変更

■保護設定や画像消去

決定 を押す(詳しくは☞ 33ページ)

※1 音声付き画像の場合。 ※2 未再生の留守録画の場合。 ※3 再生済みの音声付き画像の場合。

再生ランプが点滅しているとき（在宅自動録画の再生）

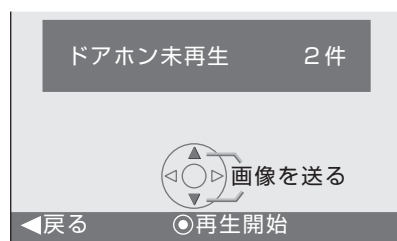
留守設定していないときの自動録画で、未再生の画像があります。再生ボタンを押して再生してください。再生ランプは、すべての未再生画像を再生しなくても消灯します。

1 再生 を押す（再生ランプが消灯する）

■ ドアホンとカメラ両方の画像があるとき

① 続けて ◇ でどちらかを選ぶ

ドアホン未再生	２件
カメラ　未再生	１０件

② 決定 を押す

2 決定 を押し、画像を再生する

- 画像が複数あるときは、◇ を押すごとに、日時の新しい画像から順番に再生される
  - ◇ を押し続けると、早送り/早戻しになる
- 再生画面の見かた（☞ 32ページ）

3 終わったら、終了 を押す

お知らせ

- **留守ランプが同時に点滅していたとき**
  再生 を押すと、まず留守録画の自動再生が開始され、終了後に上記手順1の画面になります。

留守ランプと再生ランプが消灯しているとき（すべての録画の再生）

再生済みの画像など、ドアホン親機に録画されているすべての画像を再生できます。

① 再生 を押し、◇ で項目を選ぶ

② 決定 を押す

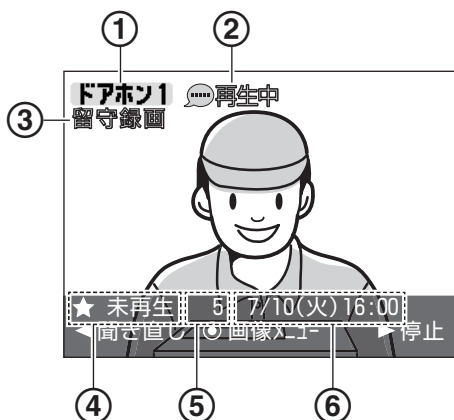
③ あとは、上記手順2～3を行う

ドアホン未再生	０件
ドアホン再生済	３０件
カメラ　未再生	１０件
カメラ　再生済	４５件

カメラ増設時のみ表示（カメラの2行）

- 画像がない項目は薄緑の文字で表示され、選べません

再生する(つづき)

再生画面の見かた

1枚録画の画像(ドアホン)	4枚録画の画像(ドアホン※またはカメラ)
	※「ドアホン録画数」の設定が「4枚」のとき (☞ 43ページ) 4分割表示

① **撮影した機器名**
(ドアホン1～2、カメラ1～4)

② **音声の再生状態(音声付き画像のみ)**
再生中：音声再生中
停止中：音声停止中

③ **留守設定中の録画にのみ表示される**

④ **画像の状態**
☆ 未再生：未再生画像
保護済：保護画像(☞ 右ページ)

⑤ **録画番号(1～100)**

⑥ **録画日時**
あらかじめ、日付・時刻設定が必要です
(☞ 15ページ)

⑦ **操作ガイド**(☞ 12ページ)

お知らせ

- **4枚録画中に別の機器から着信があり、4枚録画できなかったとき**
  ➔ 4分割表示画面には、録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。
- 39ページの「録画日時表示」の設定を「3秒表示」にすると、上記画面の③～⑦を1画像あたり約3秒間だけ表示させたあと、自動で消すことができます。

画像を保護または消去する

録画した画像(音声を含む)で、消したくないものは保護、不要なものは消去できます。(保護は最大20件まで)

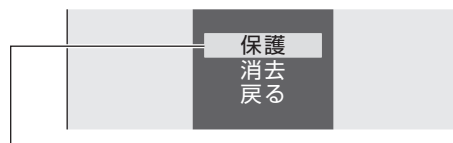
■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に 決定 を押し、
 で[保護解除]を選ぶ

② 決定 を押す

●「保護済」の表示が消える

1

画像再生中に

 を押し、 で

[保護]または[消去]を選ぶ

保護画像のときは「保護解除」と表示される

2

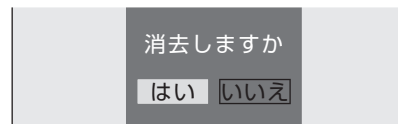
[保護]を選んだとき

 を押す

●「保護済」と表示される

[消去]を選んだとき

① **を押し、** **で[はい]を選ぶ**

消去しますか
はい いいえ

② 決定 **を押す**

●消去が終わると、次の画像が表示される

3

終わったら、

終了 **を押す**

画像を保護または消去する 再生する

お知らせ

● **「保護画像がいっぱいです…」と表示されたとき**
➔ すでに20件保護設定されています。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

● **すべての画像を一度に消去するには**(☞ 43ページ「画像全消去」)

子機と話す （ドアホン室内通話）

付属の子機など、ドアホン機能が使える子機と通話ができます。

● ドアホン親機とファクス親機間の通話はできません。

呼び出す側 → 受ける側

1

（室内呼）を押し、子機に呼びかける

● 通話ランプが点灯

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

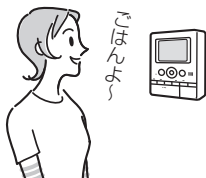
充電台から子機を取る、または

（内線）を押し、話す

2

子機が出たら、

話す

3

終わったら、

［終了］を押す

■子機からの呼び出しをドアホン親機で受けるとき

① 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、［通 話］を押して話す

② 終わったら、［終了］を押す

お知らせ

● 呼び出しは約30秒で自動的に終了します。

● **子機が2台以上あるときは、手順1ですべての子機が一斉に呼び出されます。**
38ページの「室内呼」の設定を「一斉/個別」に変えておくと、下記の手順で個別に呼び出すことができます。

① （室内呼）を押し、（▲▼）で呼び出す子機を選ぶ

② （決定）を押し、呼びかける

➔ 指定した子機にだけ呼びかけが聞こえる

③ 子機が出たら、話す

（例）

室内呼
一斉
子機 1
子機 2
子機 3
子機 4

● **通話中に別の呼び出しがあったとき**（☞ 20ページ）

音の大きさを変える（呼出音量／受話音量／再生音量）

音量の種類		変えられるとき	変えられる範囲
呼出音量	ドアホン カメラ 室内呼	●それぞれの着信中 ●待ち受け中（機能設定で変更）	• ドアホン ：3段階 ＋「切」 • カメラ ：3段階 ＋「切」 • 室内呼 ：3段階
受話音量※		通話中・モニター中	3段階
再生音量（録音再生）※		音声録音の再生中	3段階

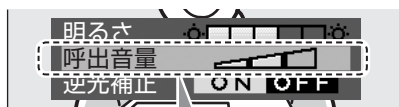
※ 2つは同じ音量設定です。どちらかで音量を変えると、もう一方も同じ設定になります。

呼出音量／受話音量／再生音量を変える

1 着信中、通話中・モニター中、音声再生中に

機能 を押し、 で音量の項目を選ぶ

（例：ドアホン着信中のとき）

2 ** で音量を変更する**

 押して大きく

 押して小さく

■ **ドアホンやカメラの呼出音量を「切」（鳴らさない）にするには**

「ピピッピピッ」と鳴るまで

を押し続ける

➔ を押すと解除

3 終わったら、

機能 を押す

待ち受け中に呼出音量を変える

ドアホン、カメラ、室内呼の呼出音量は下記の操作でも変更できます。

1 **機能 を押し、 で［親機］を選ぶ**

2 **決定 を押し、 で［呼出音量］を選ぶ**

3 **決定 を押し、 で音量を変えたい項目を選ぶ**

ドアホン
カメラ
室内呼

4 **決定 を押し、 で音量を選ぶ**

●選んだ音量で呼出音が鳴る
• 「切」は「ピピッピピッ」と鳴る

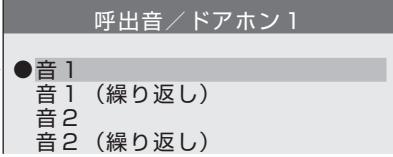
5 ** 決定 を押す**

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、

終了 を押す

呼出音を変える

ドアホンやカメラ(別売品)からの呼出音を変更できます。
● 室内呼の呼出音は変えられません。

■ 呼出音の種類

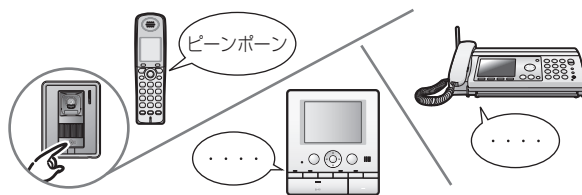
お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、カメラ1～4「音A」

ドアホンからの呼出音		カメラからの呼出音	
音1	ピーンポーン	音A	ピポッ
音1繰り返し	ピーンポーン※	音B	ポポポポポポ…
音2	プルルルルル…	音C	ポーンポーン
音2繰り返し	プルルルルル…※	音D	ピーンポーン
音3	ピンポーンピンポーン		
音3繰り返し	ピンポーンピンポーン※		

※ ドアホン着信中、約5秒間隔で、それぞれの音を繰り返します。
　ただし、「ドアホン側で鳴る音」「通話中に鳴る呼出音」「留守応答中の呼出音」は繰り返しません。

着信させるドアホンやカメラを指定する（鳴り分け）

ドアホン親機・子機・ファクス親機にそれぞれ着信させたくないドアホンがあるときは、下記の設定で「鳴らない」にしてください。

● カメラ（別売品）をご使用の場合は、ドアホン親機と子機のみ、カメラ着信の鳴り分け設定もできます。
● お買い上げ時の設定：すべて「鳴る」

1 を押し、で［その他］を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 決定 を押し、で［鳴り分け］を選ぶ

機能設定／その他
1／3ページ
日時
鳴り分け
A接点出力

3 決定 を押し、で鳴り分けを設定する室内機器を選ぶ

ファクス親機の鳴り分け設定をしたいときに選ぶ

4 決定 を押し、で着信させたくない機器を選ぶ

鳴り分け／親機
ドアホン1
ドアホン2
カメラ1
カメラ2

5 決定 を押し、で［鳴らない］を選ぶ

6 決定 を押す

● 「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

7 終わったら、終了 を押す

お知らせ

● 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
- ドアホンやカメラとの通話中またはモニター中
- 室内呼び出し中、室内通話中

● **2世帯住宅などで、ドアホンを2台設置している方へ**
世帯ごと（ドアホンごと）に留守設定（☞ 26ページ）をすることはできません。

機能設定一覧表

使いかたに合わせて、ドアホン親機・カメラ(別売品)・その他の機能を変更できます。

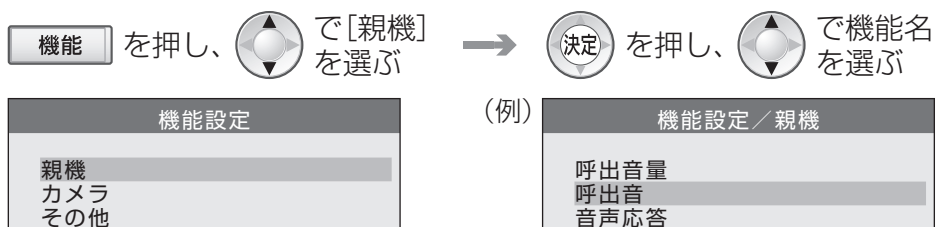
● 機能設定画面の「登録／減設」のしかたは、49〜53、56、57ページをお読みください。

● 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

ドアホン親機の機能

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
呼出音量	ドアホン：[大]、中、小、切 カメラ：[大]、中、小、切 室内呼：[大]、中、小 ● ドアホン親機で鳴る呼出音の音量を選ぶ(設定は ☞ 35ページ)
呼出音	ドアホン1：[音1]、音1(繰り返し)、音2、音2(繰り返し) 音3、音3(繰り返し) ドアホン2：音1、音1(繰り返し)、[音2]、音2(繰り返し) 音3、音3(繰り返し) カメラ1〜4：[音A]、音B、音C、音D(カメラ1〜4で個別に設定できる) ● ドアホン親機で鳴る呼出音の種類を選ぶ(設定は ☞ 36ページ)
音声応答	ON、[OFF] ●「ON」にすると、ドアホンや子機からの呼び出しに、[通話]を押さずに「はーい」などの音声で応答できる(☞ 16ページ) • 音声応答設定時も、[通話]を押して応答できます • カメラ(別売品)の呼び出しには音声応答できません
室内呼	[一斉]、一斉／個別 ●「一斉／個別」を選ぶと、子機を個別に呼び出すことができる

● 一覧表に(設定は ☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。

ドアホン親機の機能（つづき）

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
ボイスチェンジ	通常、 低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる
録画日時表示	常時、 3秒表示（画像1件につき、3秒間だけ表示） ●「3秒表示」を選ぶと、録画再生時に画像に重なって表示される録画日時欄や操作ガイドなどが約3秒後に自動で消える （表示直後） （表示してから約3秒後）
再生ランプ点滅	する、 しない ●「する」の場合、ドアホンまたはカメラ（別売品）の新しい在宅自動録画（未再生）があると点滅でお知らせする

 を押し、 で設定内容を選ぶ → を押す → 終わったら、 終了 を押す

●機能によっては、この操作を繰り返す

機能設定一覧表(つづき)

カメラ(別売品)の機能

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
カメラ出力音	[音A]、音B、音C、音D ●センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ • 音A、C、Dは：36ページ「カメラからの呼出音」の音A、C、Dと同じ • 音Bは：VL-W800のとき「ポポポポポポ…」 ：VL-W810K/VL-W811Kのとき「ピーポーピーポーピーポー…」
カメラ出力音量	大、[中]、小、切 ●センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ
センサー種別	[人感 (60秒／自動録画 ON)]、人感 (60秒／自動録画 OFF)、人感 (20秒／自動録画 ON)、人感 (20秒／自動録画 OFF)、外部入力(60秒／自動録画 ON)、外部入力(60秒／自動録画 OFF)、外部入力(20秒／自動録画 ON)、外部入力(20秒／自動録画 OFF)、外部入力(常時／自動録画 OFF)、OFF (センサー反応しない) ●センサー反応の種別(人感/外部入力)、次のセンサー反応までの時間(60秒/20秒/常時)、センサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ • カメラの人感センサーを使わず、カメラ側に別のセンサーなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ (接続できる機器については、カメラの説明書をお読みください) • **「自動録画 OFF」を選ぶと、在宅自動録画(☞ 24ページ)も留守録画(☞ 26ページ)もされません**
人感センサー感度	[標準]、低 ●人感センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ • 正面方向の検知距離は、「標準」で約5 m、「低」で約2 mになる (人感センサーについては、カメラの説明書をお読みください)

設定を変更するとき

[機能] を押し、(▲▼)で[カメラ]を選ぶ → (決定) を押し、(▲▼)でカメラ番号を選ぶ

機能設定
- 親機
- カメラ
- その他

(例) 機能設定／カメラ
- カメラ 1
- カメラ 2
- カメラ 3
- カメラ 4

カメラ(別売品)の機能 (つづき)

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
カメラマイク感度	■VL-W800のとき 大、[中]、小、切 ■VL-W810K/VL-W811Kのとき [大]、中、小、切 ●モニター中・通話中にドアホン親機や子機に聞こえる、カメラ側の音の大きさを選ぶ •「切」を選ぶと、カメラ側の音は聞こえない
カメラ受話音量	[大]、中、小 ●通話中にカメラ側に聞こえる、ドアホン親機や子機からの音声の大きさを選ぶ
ランプ表示	[常時]、通信時、消灯 ●カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニターや通話時のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ
ズーム	[標準]、拡大(約1.6倍) ●撮影対象が小さくて見えにくいときは、「拡大」を選ぶ
露出補正	(映像が暗くなる) −3、−2、−1、[0(標準)]、+1、+2、+3 (映像が明るくなる) (被写体が映りにくくなる)　(映像が白っぽくなったり、ぶれやすくなる) ●適切な明るさが得られないときに調整する •設定した露出補正は VL-W800のとき:カメラ周辺の明るさに関係なくはたらく VL-W810K/VL-W811Kのとき:カメラ周辺が暗いときだけはたらく
上下反転表示	する、[しない] ●「する」を選ぶと、カメラからの映像が上下反転する(VL-W800のみ) •VL-W810K/VL-W811Kのとき、この設定は機能しません
設定の初期化	はい、[いいえ] ●カメラの設定をすべて、お買い上げ時の状態(初期値)に戻す

を押し、 で機能名を選ぶ →

を押し、 で設定内容を選ぶ →

を押す

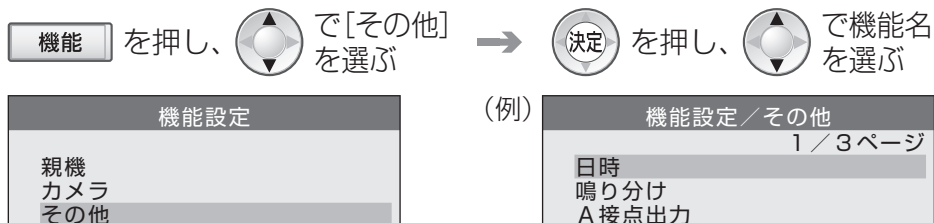
●終わったら、[終了] を押す

機能設定一覧表(つづき)

その他の機能

[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
日時	●現在の日付・時刻を設定する(設定は ☞ 15ページ)
鳴り分け	[鳴る]、鳴らない　〈ドアホン1〜2、カメラ1〜4を個別に設定〉 ●着信させたくないドアホンやカメラは「鳴らない」を選ぶ(設定は ☞ 37ページ)
A接点出力	[ON]、OFF　〈ドアホン1〜2、カメラ1〜4を個別に設定〉 ●ドアホン親機のA接点出力端子に接続した機器(回転灯など)は、設定を「ON」にしたドアホンやカメラの呼び出しに連動する(設定は ☞ 47ページ)
センサー入力	[火災警報器]、外部センサー、なし ●ドアホン親機のセンサー入力端子に接続する機器を選ぶ
拡張機器	(操作しないでください)
ドアホン接続	あり、[自動判定]、なし　〈ドアホン1〜2を個別に設定〉 ●使わなくなったドアホンは「なし」を選ぶ
外部機器ボタン	電気錠、機器、[なし]　〈外部機器1〜2を個別に設定〉 ●ドアホン親機や子機の外部機器ボタンで操作する機器を選ぶ(設定は ☞ 48ページ)
ドアホン自動録画	[ON]、OFF　〈ドアホン1〜2を個別に設定〉 ●在宅自動録画(☞ 24ページ)をやめるときは、「OFF」を選ぶ **•「OFF」にしても、留守設定時は自動で留守録画する**
録画件数振り分け	する、[しない] ●「する」を選ぶと、録画可能件数(最大100件)をドアホン画像用(最大60件)とカメラ画像用(最大40件)に分けることができる

●一覧表に(設定は ☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。

その他の機能（つづき）

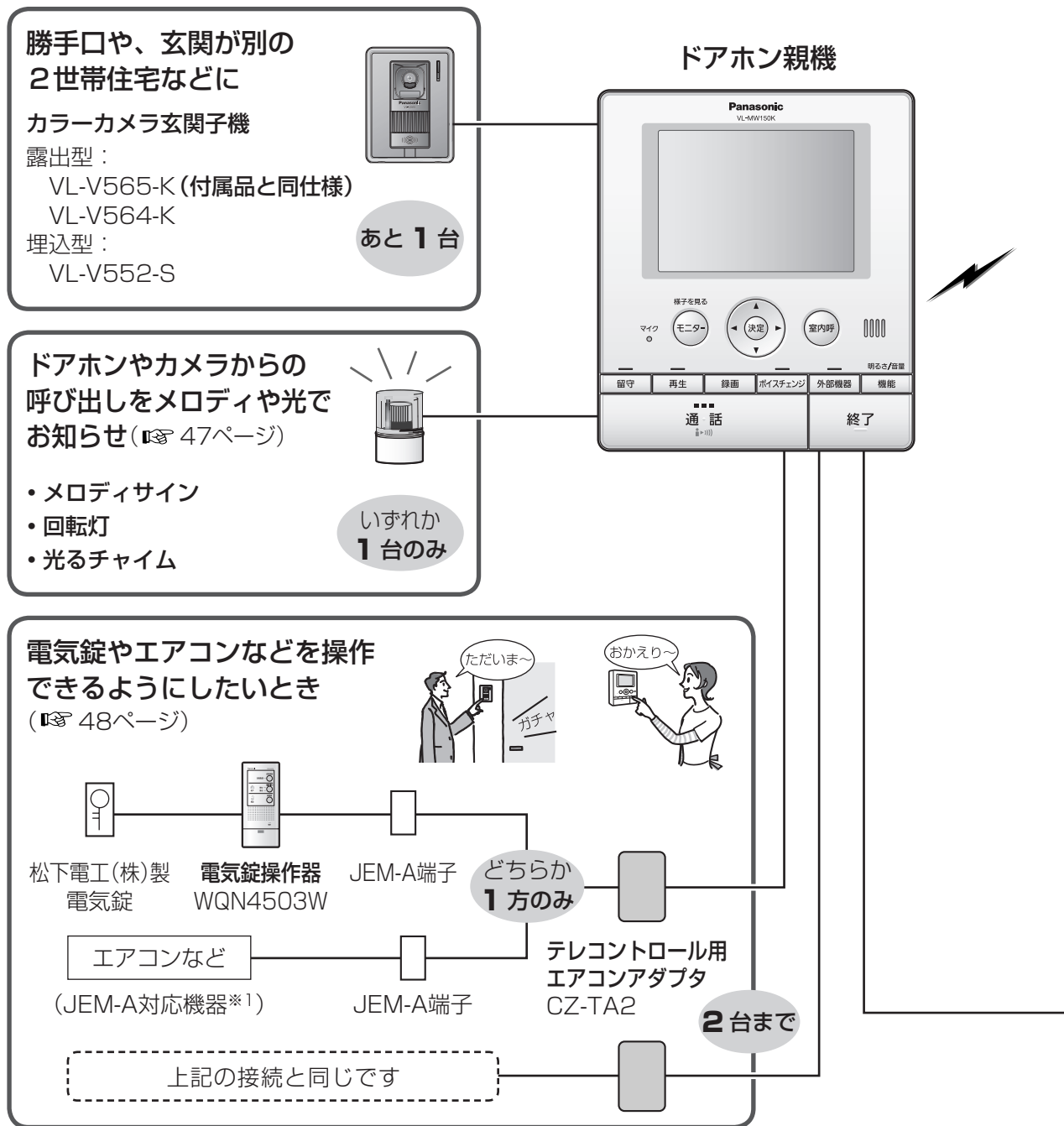
［　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
ドアホン録画数	1枚、4枚　〈ドアホン1と2の個別設定はできない〉 ● ドアホン録画1件あたりの画像枚数を選ぶ
録画開始時間	標準(約2秒)、遅い(約3秒)　〈ドアホン1と2の個別設定はできない〉 ● ドアホンの自動録画で、夜間などの映像が映りにくいとき「遅い」を選ぶ
録画ボタン	画像と音声(ドアホンのみ)、画像のみ ● ドアホン通話中・モニター中の手動録画で録音しないときは、「画像のみ」を選ぶ
留守応答音量	大、中、小　〈ドアホン1～2を個別に設定〉 ● 留守応答時に、ドアホン側に流れる応答メッセージの音量を選ぶ
自作応答録音	● 留守応答時の応答メッセージを自分で作る(設定は ☞ 28ページ)
自作応答消去	はい、いいえ
中継アンテナ	● 中継する機器を変更したいとき、登録している機器(子機1～6、カメラ1～4)の中から選ぶ〈中継アンテナ増設時のみ、中継アンテナ1～2を個別に設定〉
画像全消去	すべての画像を消去、保護画像を残して消去、戻る ● 保護画像も含めてすべての画像を消去するときは、「すべての画像を消去」を選ぶ ● 消去するときは、確認画面で ◀▶ を押して[はい]を選び、(決定) を押す
設定の初期化	設定の初期化 + 全画像を消去、設定の初期化のみ、戻る ● 設定の初期化をしても、「中継アンテナ」の設定は初期化されません ● ドアホン親機を廃棄・譲渡・返却するときは、「設定の初期化 + 全画像を消去」を選ぶ(設定は ☞ 9ページ)
展示モード	音声なし、音声なし+ドアホン自動呼出、音声あり+ドアホン自動呼出、しない ● 通常は使わないでください(店頭販売時の展示用などに使う)

 を押し、 で設定内容を選ぶ → を押す → 終わったら、 を押す

● 機能によっては、この操作を繰り返す

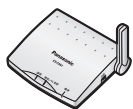
こんな機器が増設できます システム構成図(2007年6月現在)

別売品や推奨品(☞ 54ページ)を増設して、さらに使いやすいシステムにできます。
- 設置や使いかたは、それぞれの機器の説明書をお読みください。
- ドアホン親機への配線については、本機の工事説明書をお読みください。

※1 (社)日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。
この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

電波の範囲を拡大したいとき
（☞ 50ページ）

中継アンテナ
KX-FAN1

2台まで

● ファクス親機側にも使うときは、**合わせて2台まで**

中継アンテナ
KX-FAN1

部屋ごとに子機を増やすとき
（☞ 49ページ）

増設子機（コードレスモニター子機）

ドアホン/電話両用（**付属品と同仕様**）
KX-FKN531

付属の子機と**合わせて6台まで**

ワイヤレスモニター子機

ドアホン/電話両用
VL-W603

ドアホン専用
VL-W602

気になる場所のモニター用に
（☞ 52ページ）

合わせて4台まで

ワイヤレスカメラ（屋内用）
VL-W800

センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ
VL-W810K※2
VL-W811K

ドアホン親機や子機を、火災警報器や外部センサーと連動させる※3 （☞ 46ページ）

どちらか**1方のみ**

火災警報器

- **住宅用火災警報器**（移報接点付き）
  ➔ 並列接続で合わせて**8台まで**※4
- **移報接点アダプタ**の接続もできます。**（1台のみ）**
  このアダプタで連動型の火災警報器を接続できます。※5

外部センサー

例）MAMORIE ワイヤレスセキュリティ受信器
松下電工(株)製

※2　生産完了品です。すでにお持ちの方のみ増設できます。
※3　ファクス親機を火災警報器や外部センサーと連動させることはできません。
※4　移報接点アダプタも並列接続する場合は、**7台まで**。
※5　接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。
アダプタ経由で接続する火災警報器の台数は、火災警報器の仕様によって異なります。

火災警報器や外部センサーを接続して使う

接続した機器が反応すると、ドアホン親機や子機に下記のように通知されます。

- ファクス親機には通知されません。
- 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。
- 外部センサー接続時は、42ページ「センサー入力」の設定を「外部センサー」にしてください。

火災警報器や外部センサーが反応したとき

1 待ち受け中に反応すると、

通知音と画面表示で約3分間お知らせする

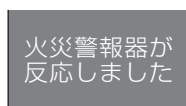
- 通知音はスピーカーから最大音量(固定)で鳴り、約3分後に自動的に終了して画面も消える

火災警報器の場合

通知音「ピロピロピロピロン」

〈ドアホン親機〉

火災警報器が反応しました

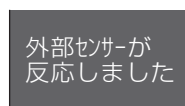
〈子　機〉

火災警報器が
反応しました

外部センサーの場合

通知音「プルルルプルルル」

〈ドアホン親機〉

外部センサーが反応しました

〈子　機〉

外部センサーが
反応しました

■**通知音と画面表示をすぐに終了したいとき**(鳴り始めから約５秒間はできない)

〈ドアホン親機〉 終了 を押す　　**〈子　機〉 終了 を約3秒間押す**

- 上記のどちらかで終了操作をすると、ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

お 願 い

- 火災警報器や外部センサーの点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

- ドアホンやカメラ(別売品)との通話中や、ドアホン室内通話中に、接続した機器が反応すると、通話が切れて上記の通知音が鳴ります。
  - 子機で外線または電話内線通話中は通話が切れずに通知音が鳴ります。
    (詳しくは ☞「子機編」48ページ)
- 上記の通知が終わったあとも接続した機器で反応が続いていると、「通話終了時」「モニター終了時」「着信終了時」に、上記の画面が約3秒間表示されます。(ドアホン親機のみ)
- ドアホン親機にメロディサイン・回転灯などを接続している場合、これらの機器も火災警報器や外部センサーの反応に連動してはたらきます。(メロディ音が鳴る、または点灯する)

メロディサインや回転灯などを接続して使う

接続した機器は、下記の場合に連動してはたらきます。

- ドアホンやカメラ(別売品)から呼び出しがあったとき
  ➔ 設定により、連動させるドアホンやカメラを指定できます。(☞ 下記)
- 火災警報器や外部センサーが反応したとき(☞ 左ページ)
  ➔ 常に連動します。設定で連動をやめることはできません。
- 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

メロディサインや回転灯を連動させる機器を指定する(A接点出力)

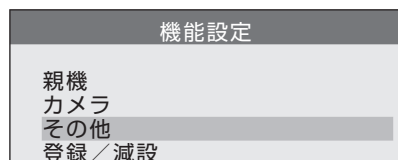
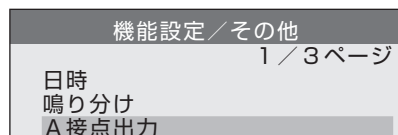
連動させたくないドアホンやカメラの設定を「OFF」にしてください。

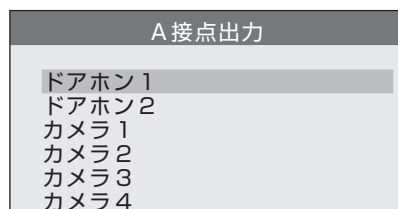
- お買い上げ時の設定：すべて「ON」

1 [機能] を押し、 で
[その他] を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 (決定) を押し、 で
[A接点出力] を選ぶ

機能設定／その他
1／3ページ
日時
鳴り分け
A接点出力

3 (決定) を押し、 で
連動させたくない機器を選ぶ

A接点出力
ドアホン1
ドアホン2
カメラ1
カメラ2
カメラ3
カメラ4

4 (決定) を押し、 で
[OFF] を選ぶ

5 (決定) を押す

- 「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、
[終了] を押す

電気錠やエアコンなどを接続して使う

接続した機器を、ドアホン親機や子機の外部機器ボタンで操作できます。
（最大2台まで）
接続後、下記の設定で、操作する機器を登録してください。
●接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

外部機器ボタンの設定

●お買い上げ時の設定：「なし」（未登録）

1 機能 を押し、 で
[その他]を選ぶ

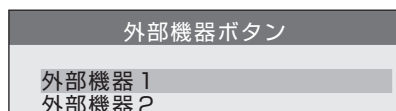
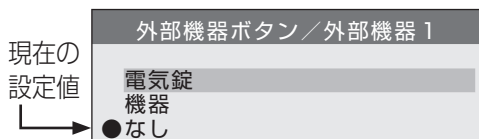
2 決定 を押し、 で
[外部機器ボタン]を選ぶ

3 決定 を押し、 で登録先の
機器番号を選ぶ

外部機器ボタン
外部機器 1
外部機器 2

4 決定 を押し、 で選ぶ

外部機器ボタン／外部機器 1
電気錠
機器
●なし

現在の設定値

「電気錠」：電気錠の施錠/解錠
「機器」　：エアコンなどの機器のON/OFF

5 決定 を押す

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、
終了 を押す

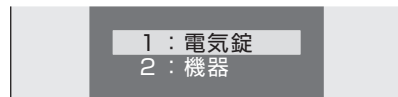
外部機器を操作する

ドアホン親機の場合

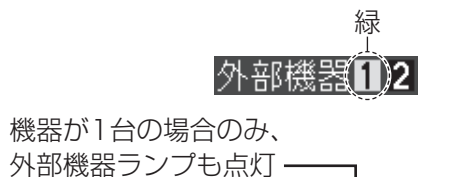
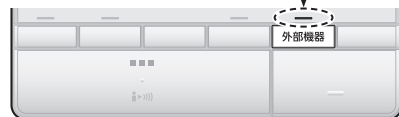
1 施錠/解錠（またはON/OFF）したいときに
外部機器 を押す

■外部機器が2台あるとき

① 続けて でどちらかを選ぶ

1 ：電気錠
2 ：機器

② 決定 を押す

（例）
●外部機器1を施錠またはONにしたとき

緑

機器が1台の場合のみ、
外部機器ランプも点灯

●外部機器1を解錠またはOFFにしたとき

黒

お知らせ

●子機で操作するとき
（☞「子機編」49ページ）
●機器の施錠/解錠（またはON/OFF）状態は
情報表示画面で確認できます。
（☞ 12ページ）

子機を増やす（増 設）

KX-FKN531 VL-W603 VL-W602

別売品の子機(☞ 54ページ)を、あと5台まで増やせます。

● KX-FKN531とVL-W603はドアホン/電話両用子機です。

- ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
- 電話機能を使うにはファクス親機に

それぞれ登録が必要です※

※ファクス親機への登録については、ファクス親機編の86ページをお読みください。

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

● 増設する子機の操作はKX-FKN531の例です。その他の子機の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

ドアホン親機の操作

1 機能 を押し、 で[登録/減設]を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 決定 を押し、 で[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、 で[子機]を選ぶ

4 決定 を押し、 で増設する子機番号を選ぶ

5 決定 を押す

続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

下記はKX-FKN531の例です。

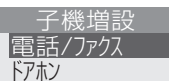
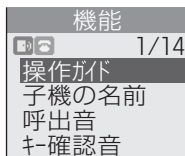
6 Ⓓ（機能）を押す

● 下記のどちらかを表示

Ⓐ

子機増設
電話/ファクス
ドアホン

Ⓑ

機能
1/14
操作ガイド
子機の名前
呼出音
キー確認音

■ Ⓐの場合

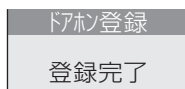
① 続けて Ⓓ で[ドアホン]を選び、Ⓓ（決定）を押す

■ Ⓑの場合

① 続けて #123 を押す

② Ⓓ で[ドアホン]を選び、Ⓓ（決定）を押す

7 Ⓓ（登録）を押す

ドアホン登録
登録完了

8 終わったら、

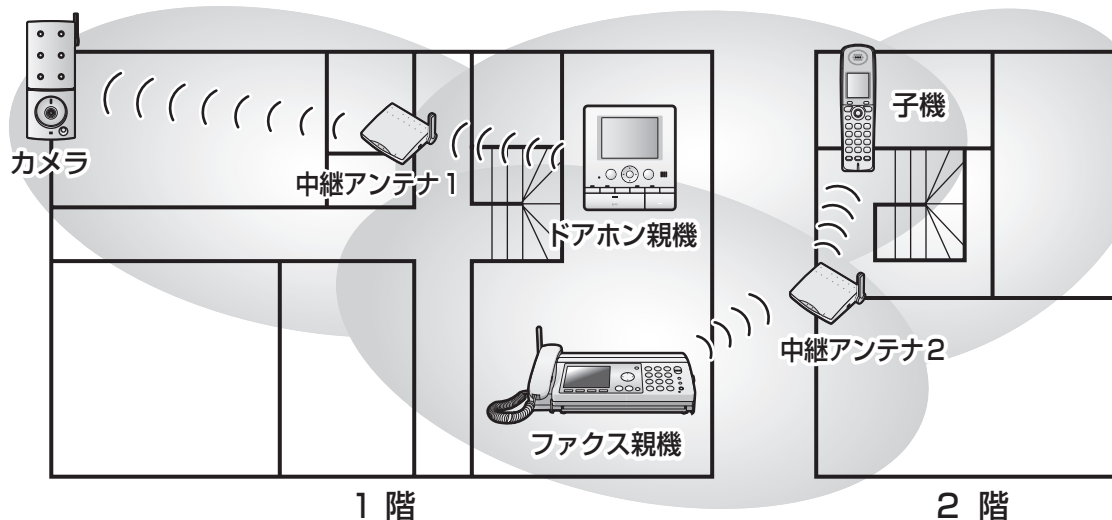
ドアホン親機の 終了 を押す

中継アンテナを設置する 増 設

子機またはカメラを使用するときに、ドアホン親機との距離が離れていたり、壁などの障害物(☞6ページ)で通話の途切れや映像の乱れなどがある場合、別売品の中継アンテナ(☞54ページ)を設置すると症状を改善できることがあります。

- ファクス親機と子機間の通話の途切れなどの場合には、ファクス親機への増設が必要です。
  (☞「ファクス親機編」88ページ)
- ドアホン親機側の中継アンテナは、1台につき、子機1台(またはカメラ1台)を中継できます。
  設置は、**ファクス親機側と合わせて最大2台**まで。

〈電波のイメージと設置例〉

部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。中継アンテナを使用するドアホン親機やファクス親機にそれぞれ登録したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

お願い

- ドアホン親機とファクス親機に、中継アンテナをそれぞれ増設するときは、中継アンテナ番号を**必ず別の番号で登録**してください。
  (例:ドアホン親機側 ➔ **中継アンテナ1**、 ファクス親機側 ➔ **中継アンテナ2**)
  ➔ 同じ番号で登録されたときはドアホン親機の画面表示でお知らせします。(☞65ページ)

お知らせ

- ドアホン親機とファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 付属の子機のようなドアホン/電話両用子機を、ドアホン親機からもファクス親機からも電波が届きにくい場所に設置すると、1台の子機でも中継アンテナが2台必要です。
  (両方の親機に登録が必要なため)
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機とファクス親機の両方に登録することはできません。

ドアホン親機に登録する

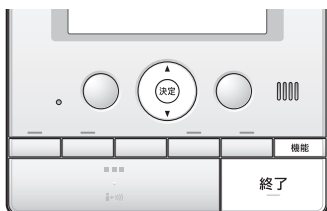
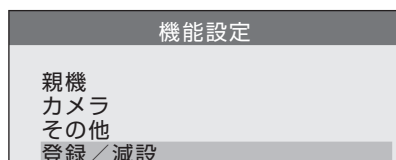
ドアホン親機に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。

ドアホン親機の操作

1 機能 を押し、 で

[登録/減設]を選ぶ

2 決定 を押し、 で[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、 で

[中継アンテナ]を選ぶ

4 決定 を押し、 で増設する

中継アンテナ番号を選ぶ

5 決定 を押し、 で中継する

機器を選ぶ

● 中継機器は、あとで変更できる
（☞ 43ページ「中継アンテナ」）

6 決定 を押す

続けて、約2分以内に中継アンテナを操作する

増設する中継アンテナの操作

7 電源を入れた状態で、

登録ボタンを約3秒間押す

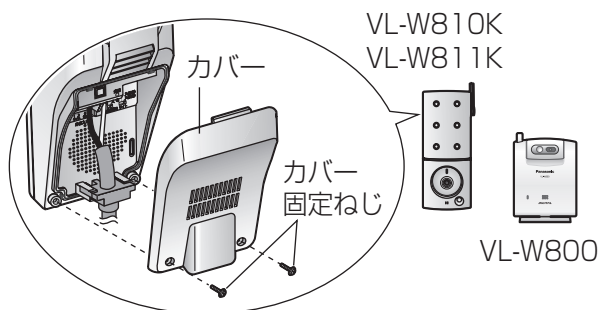
● 電波レベル/登録ランプが緑点滅する
● 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる

8 終わったら、

ドアホン親機の 終了 を押す

カメラを設置する 増 設

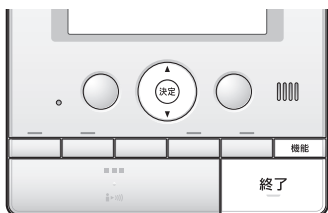
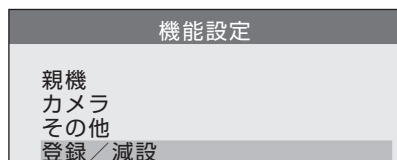
別売品のカメラ（☞54ページ）を、
合計4台まで設置できます。

- ドアホン親機への登録（増設）が必要です。
- VL-W810K/VL-W811Kの場合は、増設操作の前にカメラ裏面のカバーを外してください。
- 増設後は、カメラの説明書に従って設置してください。

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内にカメラを操作してください。

ドアホン親機の操作

1 機能 を押し、◇ で
[登録/減設]を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 決定 を押し、◇ で[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、◇ で[カメラ]を選ぶ

4 決定 を押し、◇ で増設する
カメラ番号を選ぶ

5 決定 を押す

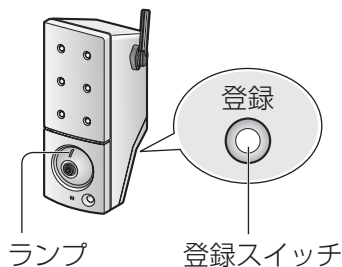
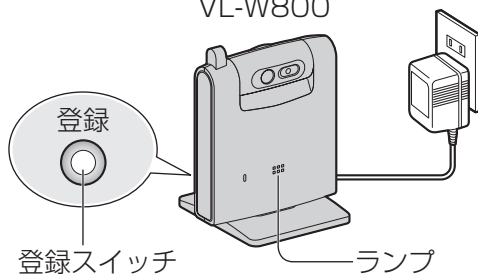
続けて、約2分以内にカメラを操作する

増設するカメラの操作

6 電源を入れた状態で、先端の細いものを使って

登録スイッチを約3秒間押す

- カメラのランプが緑点滅する
- 登録が完了すると「ピー」と鳴り、ランプが点灯に変わる

VL-W810K / VL-W811K

VL-W800

7 終わったら、

ドアホン親機の 終了 を押す

子機・カメラ・中継アンテナを使わなくなったとき（減 設）

ドアホン親機から、それぞれの登録を解除してください。

ドアホン親機で登録を解除する

1 機能 を押し、 で

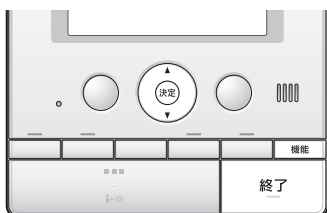
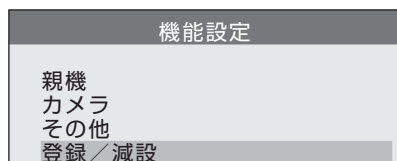
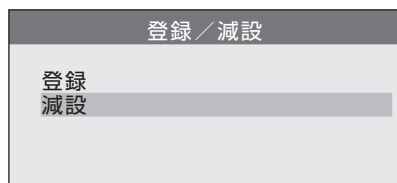
[登録/減設]を選ぶ

機能設定

親機
カメラ
その他
登録／減設

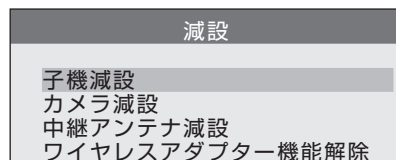
2 決定 を押し、 で[減設]を選ぶ

登録／減設

登録
減設

3 決定 を押し、 で減設する

機器の種類を選ぶ

減設

子機減設
カメラ減設
中継アンテナ減設
ワイヤレスアダプター機能解除

4 決定 を押し、 で機器番号を

選ぶ

（例：子機2を減設）

子機減設

子機 1
子機 2
子機 3

5 決定 を押す

6 終わったら、 終了 を押す

● 付属の子機のようなドアホン/電話両用子機は 、続けてファクス親機からも減設してください。
（☞「ファクス親機編」87ページ）

どちらか一方の親機からだけ減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うこともできますが、このときは必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。

（例）ドアホン親機から減設して、電話専用で使うとき

➔ 子機の「動作モード」を「電話」に変更（☞「子機編」59ページ）

「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が圏外となって使えないことがあります。

お 願 い

● 誤動作防止のため、減設後は下記のことを行ってください。

- 子機の場合 ➔ 電池パックを外す
- カメラや中継アンテナの場合 ➔ 電源プラグやACアダプターを抜く

別売品・推奨品一覧

別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

価格は2007年6月現在のものです。

製品名		品番	希望小売価格
カラーカメラ玄関子機	露出型	VL-V565-K ※1	25,200円（税込）
		VL-V564-K	25,200円（税込）
	埋込型	VL-V552-S	44,940円（税込）
増設子機（コードレスモニター子機）	ドアホン/電話両用	KX-FKN531-W ※2	27,300円（税込）
ワイヤレスモニター子機	ドアホン/電話両用	VL-W603	29,400円（税込）
	ドアホン専用	VL-W602	26,250円（税込）
コードレス子機用電池パック 松下テクニカルサービス（株）扱い		KX-FAN50 ※3	2,310円（税込）
中継アンテナ		KX-FAN1	12,600円（税込）
ワイヤレスカメラ（屋内用）		VL-W800	26,250円（税込）
センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ		VL-W811K	67,200円（税込）
スタンド（VL-W800壁掛け用）		VL-W900	3,780円（税込）
テレコントロール用エアコンアダプタ 松下電工（株）配管機材（事）扱い		CZ-TA2	3,675円（税込）
電気錠操作器 松下電工（株）HA・セキュリティ（事）扱い		WQN4503W	52,500円（税込）

※1 付属のドアホン（カラーカメラ玄関子機）と同じ仕様です。
※2 付属の子機と同じ仕様です。その他の子機は、仕様や機能が異なります。
※3 付属の子機用の電池パックです。

推奨品

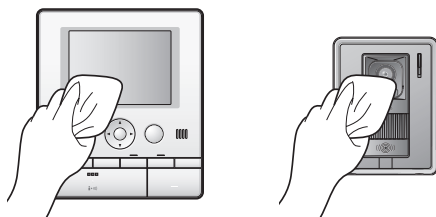
製品名		品番	
メロディサイン	松下電工（株）製	乾電池式	EC5237BP、EC5227W（P）、EC5237HP、EC5117WKP、EC5347、EC5237WP
		AC100 V式	EC710K、EC721K、EC730W
回転灯	（株）パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110	
光るチャイム	松下電工（株）製	EC170（P）	
住宅用火災警報器	ねつ当番・けむり当番 松下電工（株）製	移報接点付き	SH18113K、SH18153K
			SH18413K、SH18453K、SH18345
	能美防災（株）製	移報接点付き	FSKJ206-S
移報接点アダプタ※4	松下電工（株）製	SH8890	
MAMORIE ワイヤレスセキュリティ受信器※5	松下電工（株）製	ECD6101K	

※4 連動型の住宅用火災警報器を本機に接続するためのアダプタです。
接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。
※5 ワイヤレスで、センサーとの配線が不要なセキュリティシステムです。
接続できるセンサー類は、ワイヤレスセキュリティ受信器の説明書をご覧ください。

お手入れ

お手入れするときは、ドアホン親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

お願い

● お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

仕様

■ ドアホン親機(カラーモニター親機)

項目	仕様
電　源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.8 W 動作時　：約11 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	188 ×165 × 39 (突起部除く)
質　量	約810 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃ ～ +40 ℃ 湿度　：90 %以下
画面表示	5型TFTカラー液晶ディスプレイ
通話方式	ハンズフリー方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
A接点出力※	定格負荷： AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷： DC 5 V／1 mA
センサー入力	入力方式：無電圧メイク接点 検出確定時間：0.1秒以上 接点抵抗値： • メイク時　：500 Ω以下 • ブレイク時：5 kΩ以上 端子短絡電流：5 mA以下 端子間電圧：DC 7 V以下 (端子間開放時)
映像出力	NTSC 方式　1 Vp-p／75 Ω

※ ドアホンやカメラ(別売品)の着信時、火災警報器や外部センサーの反応時に出力

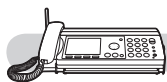
■ ドアホン(カラーカメラ玄関子機)

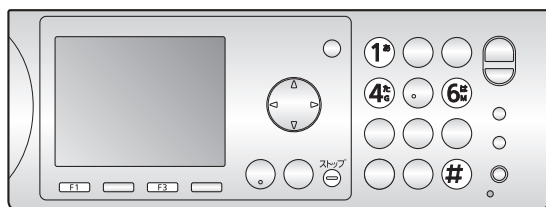
項目	仕様
電　源	ドアホン親機より供給
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	131 × 99 × 40 (突起部除く)
質　量	約220 g
使用環境条件	周囲温度：-10 ℃～+50 ℃ 湿度　：90 % 以下
取付方法	露出型： JIS1 個用スイッチボックス (カバー付き)適合
外観材質	難燃ABS樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	赤外線LED

ドアホン親機やファクス親機を 買い替えるとき （ワイヤレスアダプター減設/増設）

お買い上げ時、ドアホン親機とファクス親機は、「ワイヤレスアダプター」機能で無線接続されています。（これによってファクス親機でもドアホン通話ができる仕組みです）
どちらかの親機を買い替えるときは、いったんワイヤレスアダプター機能での接続を解除（減設）し、新しい親機を再度ワイヤレスアダプター機能で接続（増設）してください。

ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるとき（減設）

ファクス親機に続けて、ドアホン親機を操作してください。

ファクス親機の操作

（KX-PW616）

1 機能 F3 を押し、#164を押す

ワイヤレスアダプター設定

2 決定 F3 を押す

減設=1
増設=2

3 1を押し、はい F1 を押す

ドアホンを
減設しました

4 ストップ を押す

ドアホン親機の操作

5 機能 を押し、で[登録/減設]を選ぶ

6 決定 を押し、で[減設]を選ぶ

7 決定 を押し、で[ワイヤレスアダプター機能解除]を選ぶ

8 決定 を押す

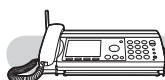
●終わったら、終了 を押す

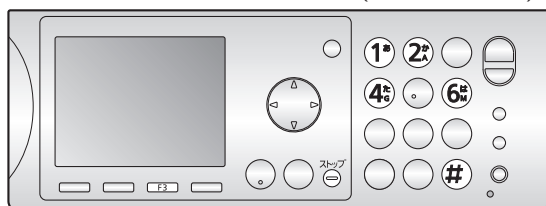
ワイヤレスアダプターの減設が終わったら、下記の操作をしてください。
①今までご使用の親機からすべての子機を減設し、そのすべてを新しい親機に登録する
- 減設のしかた（☞ 53ページ、「ファクス親機編」87ページ）
- 登録のしかた（☞ 49ページ、「ファクス親機編」86ページ）

②新しい親機を再度ワイヤレスアダプター機能で接続（増設）する（☞ 右ページ）

ワイヤレスアダプター機能で親機同士を接続する（増設）

ファクス親機に続けて、約2分以内にドアホン親機を操作してください。

● 下記はファクス親機「KX-PW616」、ドアホン親機「VL-MW150K」の例です。それぞれの操作は新たに接続するドアホン親機や電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話/ファクス親機の操作

（KX-PW616）

1 電話機コードを抜く

● 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ（電話機は［取消］ボタン）で表示を消してください

2 機能 F3 を押し、# 1 6 4 を押す

ﾜｲﾔﾚｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ設定

3 決定 F3 を押す

減設=1
増設=2

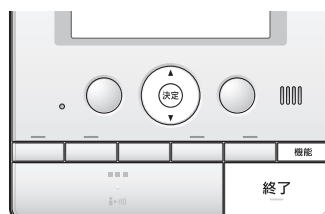
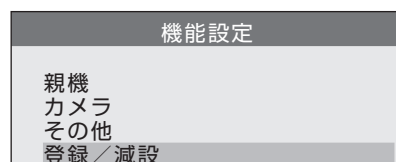
4 ② を押す

ﾄﾞｱﾎﾝ親機を
操作してください

続けて、約2分以内にドアホン親機を操作する

ドアホン親機の操作

5 機能 を押し、 で［登録/減設］を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

6 決定 を押し、で［登録］を選ぶ

7 決定 を押し、で［ワイヤレスアダプター機能］を選ぶ

8 決定 を押す

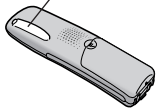
9 終わったら、

① ドアホン親機の 終了 を押す

② ドアホンの呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認する
（一度押さないとドアホンに呼びかけられない）

③ 電話/ファクス親機に電話機コードを接続する

④ 設置場所で電波状態を確認する
（☞ 13ページ ②）

お知らせ

● 手順6のあと設定が完了するまでは、ドアホンからの呼び出しを受けられません。

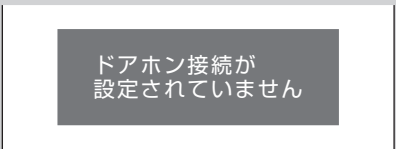
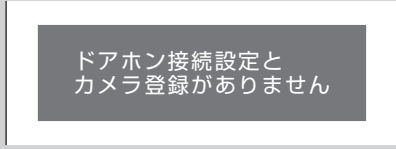
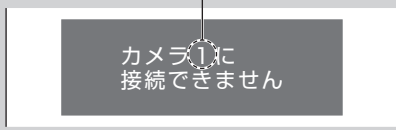
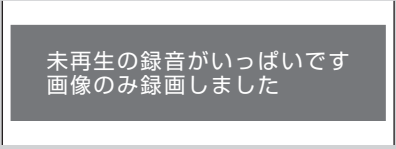
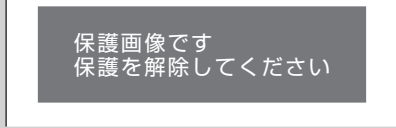
困ったとき

● カメラ（別売品）の人感センサー動作など、カメラ側の症状については、カメラの説明書をお読みください。

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
モニター画面	ドアホンの映像が白黒っぽく映る	● 夜間など、ドアホンの周囲が暗いと白黒映像になります。（故障ではありません）	–
	ドアホンの映像で人の顔が暗く映る	● ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 〈VL-V565の場合〉 ➔ 映像表示中に、［明るさ/音量 機能］で逆光補正をしてください。 〈VL-V565以外の場合〉 ➔ 逆光にならない位置に、設置してください。	– 17 –
	映像がはっきりしない・焦点が合わない	● ドアホンのパネル（レンズカバー）や、カメラ（別売品）のレンズが汚れていませんか？ ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。 ● ドアホンのパネル（レンズカバー）が結露していませんか？ ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	55 –
	映像全体が白っぽい、または黒っぽい	● 明るさの設定は適切ですか？ ➔ 映像表示中に、［明るさ/音量 機能］で明るさを調節してください。	17
	ドアホンの映像が白っぽい、または縦線が入る	● ドアホンのレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。（故障ではありません） ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	–
	画面全体がちらつく	● ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか？ ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと（フリッカー現象）があります。（故障ではありません）	–
	カメラ（別売品）の映像の更新が遅い	● カメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にカメラを移動させてください。 移動できないときは、中継アンテナ（別売品）を設置すると改善できることがあります。 ● 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。	6 50 7

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
モニター画面	カメラ(別売品)の映像の映りが悪い • 人の顔が暗く映る • 適切な明るさにならない • 夜間など、暗いときの映像が白っぽい • 赤や緑の点が見える	●人の顔が暗く映るとき 〈VL-W810K/VL-W811Kの場合〉 • カメラの周囲が暗いと、被写体が暗くなります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「露出補正」の設定をプラス側に調整してください。 それでも暗いときは、補助灯の設置をお勧めします。	41
		〈VL-W800の場合〉 • カメラの設置場所に強い日ざしが差し込んでいるときや逆光のとき、または黒いものなどをモニターするときは、被写体が暗くなります。 ➔ 日ざしが弱くなるようにするか、ドアホン親機で、カメラの「露出補正」の設定をプラス側に調整してください。	41
		●適切な明るさにならないとき • カメラの設置場所の明るさが急激に変化していませんか？ ➔ しばらく待つと、自動で補正されます。 (VL-W800　：約10秒 VL-W810K/VL-W811K　：約3秒)	–
		●夜間など、暗いときの映像が白っぽいとき(VL-W810K/VL-W811Kのみ) • 露出補正をプラス側にしすぎています。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「露出補正」の設定をマイナス側に調整してください。	41
		• 背景に白い壁などがあると、夜間に撮影した映像の最初の数枚が白っぽくなることがあります。 (人感センサー反応時：最初の3～4枚目まで カメラモニター時　：最初の1枚のみ) ➔ 上記以降の映像は、自動で補正されます。	–
		●赤や緑の点が見えるとき(VL-W800のみ) • カメラの設置場所が暗くありませんか？ ➔ 設置場所を明るくしてください。	–

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原 因 と 対 応	ページ
モニター画面	録画再生で、録画日時が「--/--(--)--:--」となっている	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ ドアホン親機で、日付･時刻を設定してください。	15
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	43
	画面が真っ暗	●待ち受け中は画面が消えます。 ➔ （決定）を押すと、情報表示画面を表示します。	12
通話（ドアホン・カメラ・室内通話）	通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	17
		●子機やカメラとの通話の場合 • 子機背面のアンテナ部を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。 アンテナ部	–
		• 子機やカメラが、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機やカメラを移動させてください。移動できないときは、中継アンテナ（別売品）を設置すると改善できることがあります。	6 50
		• 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機やカメラをドアホン親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	7

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
通話(ドアホン・カメラ・室内通話)	雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–
	相手に、こちらの声がまったく聞こえない(こちらには相手の音声が聞こえる)	●プレストーク通話になっていませんか?(を表示) ➔ プレストーク通話では、[通 話]を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	17
	音声応答がうまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➔「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	16
モニター(ドアホン・カメラ)	指定したモニター先につながらず、「着信中の○○○を表示します」と出て、別の機器の映像が表示される	●「鳴り分け」の設定で、「鳴らない」に設定した機器から着信中のため、着信中の映像が表示されます。 ➔ モニター先を切り替えるには、(モニター)を押してください。	37 19 22
呼出音	ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない	●呼出音が「切」になっていませんか? ➔ 呼出音「切」を解除してください。 ●ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか? ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。	35 37
ドアホンの留守設定	留守設定したのに • 用件が録音されない • 相手に応答メッセージが流れない	●お買い上げ時の設定では、留守設定時に録画のみを行い、応答メッセージも流れません。 ➔ 用件を録音するには、留守設定時に設定を変更してください。 ●録音は最大25件です。未再生の留守録画と保護設定した画像のうち、音声付き画像が合計25件あると、それ以上は録音されません。 (応答メッセージも流れません) ➔ [留守]を押して、未再生の留守録画を再生すると、録音できるようになります。	26 27 30

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
ドアホンの留守設定	留守解除できない（留守ランプの点滅が消えない）	●未再生の留守録画をすべて再生するまで、留守解除されません。 ➔ 留守 を押して、未再生の留守録画を再生してください。	30
	留守ランプが速く点滅している	●録音がいっぱい（25件）で、これ以上録音できません。録画はできます。 ➔ 留守 を押して、未再生の留守録画を再生してください。	27 30
その他	停電のとき使えますか？	●使えません。ドアホン親機は、日付・時刻が初期値に戻ることがあります。 ➔ 戻ったときは、ドアホン親機の日付・時刻を設定してください。	15
	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らないときは、ドアホン親機の底面にあるリセットスイッチを先端の細いもので押してください。 （録画した画像、登録した設定内容、応答メッセージなどは消えません）	10
	ドアホン親機が動作しない ・映像が映らない ・呼出音が鳴らない ・音声が出ない	●電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？ ➔ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。 それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●電源直結工事をして、ご使用のとき ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	– –

こんなとき(症状など)		原因と対応	ページ
火災警報器／外部センサーの接続	火災警報器または外部センサーが反応しているのに、ドアホン親機や子機に通知されない • 通知音が鳴らない • 通知画面が出ない	●配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	外部センサー(MAMORIE)が反応しているのに、ドアホン親機や子機の通知音が鳴らない、または鳴るのが遅い	●ドアホン親機や子機の通知音は、MAMORIEの設定によって、鳴り出すタイミングが異なります。 ➔ 詳しくはMAMORIEの説明書をお読みください。	—
電気錠などの接続	電気錠などの機器を施錠(またはON)しても外部機器ランプが点灯しない	●電気錠などの機器を、外部機器ボタンに2台登録していませんか？ ➔ 外部機器ランプは、登録された機器が1台の場合のみ、施錠(またはON)中に点灯します。	48

こんな表示が出たら

表示	原因と対応	ページ
ドアホン接続が 設定されていません	●ドアホン接続後、ドアホン側で一度も呼出ボタンを押さないまま、ドアホン親機の［通 話］を押していませんか？ ➔ 一度、ドアホン側で呼出ボタンを押してください。 次回からドアホンに接続できるようになります。	–
ドアホン接続設定と カメラ登録がありません	●ドアホン接続後、ドアホン側で一度も呼出ボタンを押さないまま、ドアホン親機の（モニター）を押していませんか？ （別売品のカメラも登録されてないとき） ➔ 一度、ドアホン側で呼出ボタンを押してください。次回からドアホンに接続できるようになります。	–
カメラ番号（1～4） カメラ1に 接続できません 接続できません	●カメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にカメラを移動させてください。 移動できないときは、中継アンテナ（別売品）を設置すると改善できることがあります。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。	6 50 7
未再生の録音がいっぱいです 画像のみ録画しました	●録音がいっぱい（25件）で、これ以上録音できません。 ➔ 録音できるようにするには、［留守］を押して、未再生の留守録画を再生してください。	27 30
保護画像です 保護を解除してください	●保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	33

表　示	原因と対応	ページ
保護画像がいっぱいです これ以上保護できません	●保護画像がいっぱい(20件)になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護設定してください。 ※ 保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	33
留守の未再生画像があるため 初期化できません 再生してから初期化してください	●未再生の留守録画があると初期化できません。 ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生してから、初期化をやり直してください。	30 43
中継アンテナ番号(1～2) ❗中継アンテナ1の登録が 電話とドアホンで重複しています	●ドアホン親機に登録している中継アンテナ(1または2)が、ファクス親機にも同じ番号で登録されています。 ➔ どちらかの中継アンテナを減設し、別の番号で登録し直してください。	50 53
❗中継アンテナ１，２の登録が 電話とドアホンで重複しています	●ドアホン親機に登録している２台の中継アンテナが、ファクス親機にも同じ番号で登録され、ドアホン親機とファクス親機で合計３台以上登録されています。 ➔ 中継アンテナは、合計２台までしか登録できません。 合計２台以下になるよう、どちらかの中継アンテナを減設してください。	50 53
ワイヤレスアダプター　圏外 ▶ワイヤレスアダプター接続開始	●ファクス親機から電波が届いていないため、ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません。 ➔ ファクス親機の電源が入っていることを確認し、左の画面が出ている状態でドアホン親機の ◎ を押してください。 ➔ 上記操作後も「圏外」になるときは、ファクス親機の設置場所に問題がある場合があります。6ページを参照のうえ、電波の強い場所にファクス親機を設置し直してください。	12 13 6
火災警報器が反応しました 外部センサーが反応しました	●火災警報器または外部センサーが反応していませんか？ ➔ 火災警報器または外部センサーを確認してください。 ●火災警報器または外部センサーが反応していない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	46

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルファクス付テレビドアホンの補修用性能部品を、ファクス親機と子機については製造打ち切り後5年、その他については製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の58～65ページ、「子機編」の65～73ページ、「ファクス親機編」の98～108ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグとACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	パーソナルファクス付テレビドアホン
品　番	VL-SW155K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により、録画、録音、通話、ファクス送・受信および料金管理などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

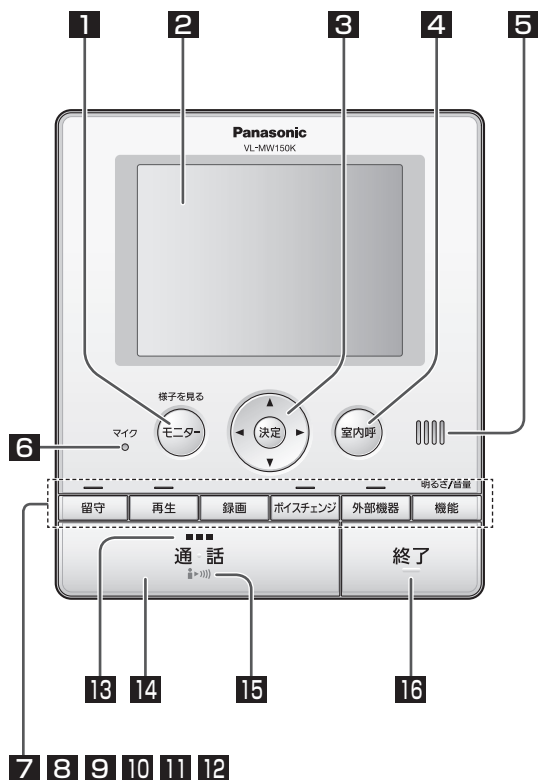
地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

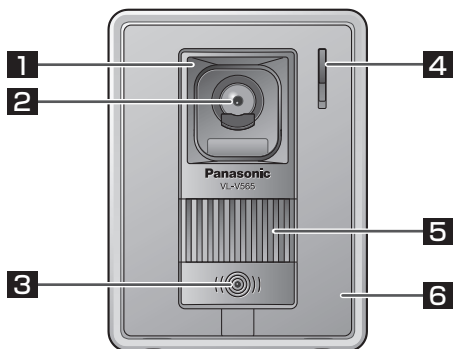
所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0107

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

VL-MW150K

1. Monitor button
2. Display
3. Navigator button
   Set button
4. Intercom button
5. Speaker
6. Microphone
7. 留守 — Auto Answer indicator / Auto Answer button
8. 再生 — Playback indicator / Playback button
9. 録画 — REC button
10. ボイスチェンジ — Voice change indicator / Voice change button
11. 外部機器 — External indicator / External button (To lock/unlock the door, and etc.)
12. 明るさ/音量 機能 — Function/Brightness/ Volume button
13. Conversation indicator
14. Talk button
15. Talk indicator (Lights while you are talking)
16. OFF button

VL-V565

1. Lens cover
2. Camera
3. Call button & indicator
4. Microphone
5. Speaker
6. Panel

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press 通 話 (14).

■ To monitor outside image

Press モニター (1).

(To talk to the visitor, press 通 話 .)

● **More than one optional camera are connected**

After press モニター , select the doorphone using (3) and press 決定 (3).

■ To monitor a camera image

After press モニター , select the camera using and press 決定 .

(To talk to a person near the camera, press 通 話 .)

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press モニター .

(To talk to a person near the camera, press 通 話 .)

■ To record the displayed image

Press 録画 (9) while the image is displayed.

■ To set up the Auto answer system

When you leave home, press 留守 (7) to turn ON the indicator.

● **To record messages**

After press 留守 , press 機能 (12).

➔ Select［あり（固定） 画像と音声］using , then press 決定 .

■ To cancel the Auto answer system

When you return home, press 留守 to play back the recorded images and cancel the Auto answer.

➔ The recorded images are automatically played back. After all of the recorded images are played back, the Auto answer system is cancelled (the Auto answer indicator turns OFF).

■ To play back the recorded images while the Auto answer system is deactivate

Press 再生 (8). ➔ Select a desired image using .

● **More than one optional camera are connected**

After press 再生 , select a desired item using . ➔ Select a desired image using .

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

さくいん

A～Z 行

あ 行

か 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

わ 行

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

■別売品は54ページをご覧ください。

愛情点検 **長年ご使用のパーソナルファクス付テレビドアホンの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコード、ACアダプターが熱を持っている。
- 記録紙や送信原稿がたびたび詰まる。
- 時刻表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグやACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　　）　　　ー

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.jp/door/

- BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 本機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2780YA SC0507MT1077

Panasonic® パーソナルファクス付テレビドアホン VL-SW155K 取扱説明書（ドアホン親機編）